尼崎市
介護人材等に関するアンケート調査結果
報告書

令和２年９月現在

尼　崎　市

目次

第１章　調査の概要 3
１．調査目的 3
２．調査種類と調査方法など 3
３．調査時期 3
４．回収状況 3

第２章　調査結果の概要 5

第３章　施設・通所系事業所調査結果 15
１．貴事業所について 15
２．職員の採用、人材等について 17
３．外国人労働者の受け入れについて 27
４．事業運営等について 29

第４章　訪問系事業所調査結果 36
１．貴事業所について 36
２．職員の採用、人材等について 38
３．外国人労働者の受け入れについて 47
４．事業運営等について 49

第５章　訪問系職員調査結果 54
１．サービス提供について 54
２．働き方について 67

第１章　調査の概要

１．調査目的

本調査は、尼崎市内で介護保険サービスを提供する事業所を対象に、福祉人材の確保の状況や今後のサービス提供に対する考えを把握し、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の改定のための基礎資料とするため、調査を実施しました。

２．調査種類と調査方法など

本調査は、尼崎市内で介護保険サービス提供する「①施設・通所系事業所調査」と「②訪問系事業所調査」を対象に調査を実施しています。

「③訪問系介護職員調査」は、訪問系事業所のうち「訪問看護」「訪問リハビリテーション」を除く訪問系事業所に職員調査を５部ずつ送付し、調査を実施しています。

なお、調査対象者は令和２年６月１日現在を基準に抽出を行っています。

<table>
<tr><th>調査種類</th><th>調査の対象者</th><th>配布数</th><th>抽出方法</th><th>配布・回収方法</th></tr>
<tr><td>①施設・通所系事業所調査</td><td>市内で介護保険サービス提供する施設・通所系事業所</td><td>317 件</td><td>全事業所</td><td rowspan="3">郵送による配布・回収もしくはメールによる回収</td></tr>
<tr><td>②訪問系事業所調査</td><td>市内で介護保険サービス提供する訪問系事業所</td><td>374 件</td><td>全事業所</td></tr>
<tr><td>③訪問系介護職員調査</td><td>市内で介護保険サービス提供する訪問系事業所で働く介護職員
※訪問看護、訪問リハビリテーション事業所を除く</td><td>1,510 件</td><td>訪問系事業所に５部ずつ送付</td></tr>
</table>

３．調査時期

令和２年７月 28 日から令和２年８月 18 日まで

４．回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
①施設・通所系事業所調査	317 件	199 件	62.8%
②訪問系事業所調査	374 件	182 件	48.7%
③訪問系介護職員調査	1,510 件	632 件	－

調査の対象とした介護保険サービスの種類

施設・通所系事業所調査	訪問系事業所調査
通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 特定施設入居者生活介護 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 軽費老人ホーム（ケアハウス） 317 事業所に送付	■事業所調査のみ 訪問リハビリテーション 訪問看護 72 事業所に送付 ■事業所調査+職員調査 訪問介護 訪問入浴介護 夜間対応型訪問介護 小規模多機能型居宅介護 複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 302 事業所に送付

第２章　調査結果の概要

①サービスの稼働状況

■新型コロナウイルス以前の稼働状況

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	人員体制は整っていたが、利用ニーズがなかった（少なかった）	36	18.1	16	8.8
2	人員が不足していて、受け入れ数を制限していた	5	2.5	60	33.0
3	サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れていた	154	77.4	101	55.5
	不明・無回答	4	2.0	5	2.7
	全体	199	100.0	182	100.0

新型コロナウイルス以前の稼働状況は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れていた」が最も多くなっています。２番目は施設・通所系事業所で「人員体制は整っていたが、利用ニーズがなかった（少なかった）」、訪問系事業所は「人員が不足していて、受け入れ数を制限していた」となっています。

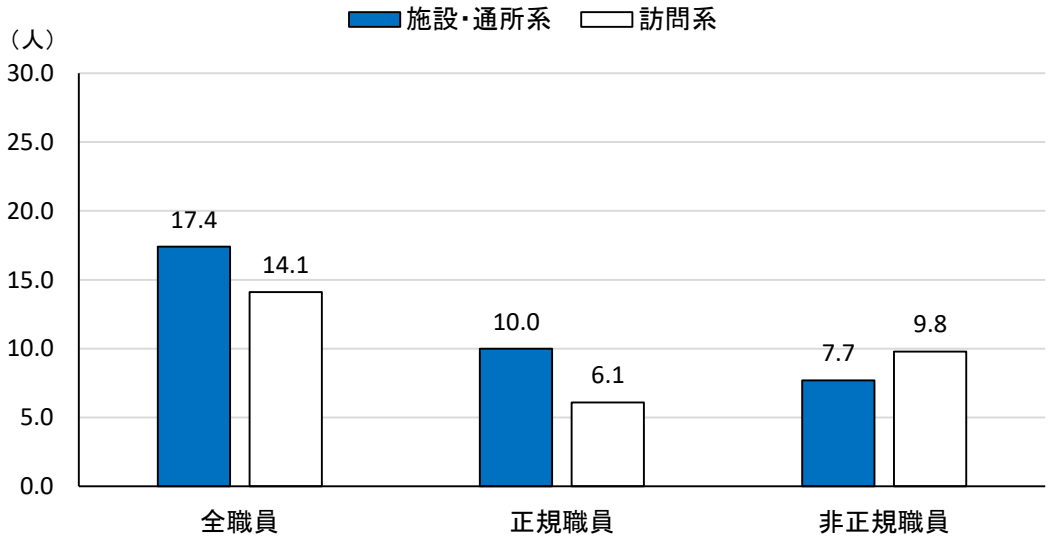
■現在の稼働状況

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	人員体制は整っているが、利用ニーズがない（少ない）	77	38.7	25	13.7
2	人員が不足しており、受け入れ数を制限せざるを得ない	15	7.5	78	42.9
3	サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている	101	50.8	73	40.1
	不明・無回答	6	3.0	6	3.3
	全体	199	100.0	182	100.0

現在の稼働状況は、施設・通所系事業所は「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」、訪問系事業所は「人員が不足しており、受け入れ数を制限せざるを得ない」が最も多くなっています。

②職員の状況

職員数の平均



全職員の構成人数

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	9 人以下	92	46.2	77	42.3
2	10～19 人	63	31.7	67	36.8
3	20～29 人	10	5.0	23	12.6
4	30～39 人	9	4.5	8	4.4
5	40～49 人	8	4.0	4	2.2
6	50～99 人	16	8.0	2	1.1
7	100 人以上	1	0.5	1	0.5
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0
	全体	199	100.0	182	100.0

職員数の平均は、施設・通所系事業所で 17.4 人、訪問系で 14.1 人となっています。雇用形態別にみると、施設・通所系事業所は「正規職員」が 10.0 人で「非正規職員」より多く、訪問系事業所は「非正規職員」が 9.8 人で「正規職員」より多くなっています。

全職員の構成人数をみると、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「9 人以下」が最も多く、次いで「10～19 人」、「20～29 人」で続いています。

③新規職員の採用にあたっての新型コロナウイルスの影響の状況

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	募集活動の延期・応募者の辞退などがあり、採用時期に遅れが生じている	46	23.1	31	17.0
2	影響はなかった	143	71.9	132	72.5
	不明・無回答	10	5.0	19	10.4
	全体	199	100.0	182	100.0

新規職員の採用にあたっての新型コロナウイルスの影響の状況は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「影響はなかった」が多くなっています。「募集活動の延期・応募者の辞退などがあり、採用時期に遅れが生じている」は施設・通所系事業所で 23.1%、訪問系事業所で 17.0%となっています。

④介護職員の配置状況

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	十分に配置されている	119	59.8	71	39.0
2	突然の退職等があり、現在は十分でない	41	20.6	32	17.6
3	十分に配置されていない状態が従前から続いている	36	18.1	73	40.1
	不明・無回答	3	1.5	6	3.3
	全体	199	100.0	182	100.0

介護職員の配置状況について、施設・通所系事業所は「十分に配置されている」、訪問系事業所は「十分に配置されていない状態が従前から続いている」が最も多くなっています。

介護職員の配置状況で「十分に配置されていない状態が従前から続いている」と答えた方

⑤不足している職種

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	看護師、保健師	8	22.2	8	11.0
2	訪問介護員（実務者研修修了等）	33	91.7	62	84.9
3	介護職員（無資格）	20	55.6	5	6.8
4	主任介護支援専門員	0	0.0	2	2.7
5	介護支援専門員	0	0.0	2	2.7
6	介護福祉士	21	58.3	28	38.4
7	社会福祉士	1	2.8	0	0.0
8	理学療法士	1	2.8	1	1.4
9	作業療法士	0	0.0	2	2.7
10	言語聴覚士	0	0.0	1	1.4
11	栄養士	0	0.0	0	0.0
12	事務員	0	0.0	3	4.1
13	その他	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	1	2.8	1	1.4
	全体	36	100.0	73	100.0

不足している職種は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「訪問介護員（実務者研修修了等）」が最も多く、次いで「介護福祉士」が続いています。

⑥職員の早期離職防止や定着促進で取り組んでいること

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	165	82.9	132	72.5
2	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	134	67.3	143	78.6
3	賃金水準を向上させている	93	46.7	89	48.9
4	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	101	50.8	88	48.4
5	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	49	24.6	41	22.5
6	キャリアに応じた給与体系を整備している	99	49.7	76	41.8
7	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	131	65.8	105	57.7
8	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	85	42.7	43	23.6
9	能力開発を充実させている	101	50.8	82	45.1
10	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	55	27.6	40	22.0
11	仕事内容の希望を聞いて配置している	72	36.2	94	51.6
12	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている	88	44.2	70	38.5
13	健康対策や健康管理に力を入れている	72	36.2	68	37.4
14	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている	148	74.4	138	75.8
15	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	100	50.3	86	47.3
16	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	113	56.8	82	45.1
17	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	29	14.6	21	11.5
18	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている	62	31.2	54	29.7
19	職場環境を整えている	75	37.7	78	42.9
20	子育て支援を行っている	30	15.1	16	8.8
21	その他	3	1.5	4	2.2
22	特に方策はとっていない	5	2.5	1	0.5
	不明・無回答	0	0.0	1	0.5
	全体	199	100.0	182	100.0

職員の早期離職防止や定着促進で取り組んでいることは、施設・通所系事業所は「不足している職種は、残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」、訪問系事業所は「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が最も多くなっています。

施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている」が上位３項目となっています。

⑦介護人材確保・定着等に対する支援で効果が高いと思うもの

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進	36	18.1	30	16.5
2	若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験	60	30.2	47	25.8
3	高齢者など地域の住民による生活支援の担い手の養成	19	9.5	26	14.3
4	介護実習の受入施設・事業所に対し、円滑化に向けた経費の助成	62	31.2	42	23.1
5	大学や専門学校を対象とした求人活動への援助	51	25.6	31	17.0
6	介護未経験者に対する研修支援	72	36.2	60	33.0
7	中高年の介護就労促進に向けたボランティアセンターとシルバー人材センター等の連携強化事業	15	7.5	16	8.8
8	介護事業所におけるインターンシップ・職場体験の実施に対する助成	43	21.6	17	9.3
9	介護分野での就労未経験者の就労・定着促進に向けた支援	53	26.6	38	20.9
10	キャリア支援専門員の配置による求人・求職のマッチング機能の強化	11	5.5	15	8.2
11	介護に関する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的な支援	33	16.6	19	10.4
12	生活援助従事者研修の受講支援等からマッチングまでの一体的な支援	6	3.0	9	4.9
13	留学生に対する日本語学習等の課外授業実施への経費の助成	11	5.5	8	4.4
14	介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給	12	6.0	6	3.3
15	留学生と介護施設等のマッチング支援	13	6.5	6	3.3
16	介護人材キャリアアップ研修に対する支援	79	39.7	63	34.6
17	各種研修に係る代替要員の確保に対する助成	25	12.6	26	14.3
18	潜在介護福祉士の再就業促進に対する助成	38	19.1	32	17.6
19	認知症ケアに携わる人材育成のための研修に対する助成	48	24.1	28	15.4
20	権利擁護人材の育成に対する経費の助成	2	1.0	7	3.8
21	介護予防促進に向けたOT、PT、STの指導者育成に対する助成	13	6.5	7	3.8
22	新人介護職員に対するエルダー、メンター制度等導入のための研修	42	21.1	33	18.1
23	管理者等に対する雇用管理改善方策の普及	28	14.1	17	9.3
24	介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営支援	53	26.6	39	21.4
25	介護サービス事業所等の職員に対するベビーシッターの派遣	14	7.0	21	11.5
26	その他	6	3.0	7	3.8
27	わからない	6	3.0	8	4.4
	不明・無回答	3	1.5	22	12.1
	全体	199	100.0	182	100.0

介護人材確保・定着等に対する支援で効果が高いと思うものは、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「介護人材キャリアアップ研修に対する支援」が最も多く、次いで「介護未経験者に対する研修支援」が続いています。

⑧外国人労働者の受け入れ状況

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	受け入れている	19	9.5	13	7.1
2	受け入れていたが、今は受け入れていない	11	5.5	5	2.7
3	受け入れていない（受け入れたことはない）	167	83.9	155	85.2
	不明・無回答	2	1.0	9	4.9
	全体	199	100.0	182	100.0

外国人労働者の受け入れ状況は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「受け入れていない（受け入れたことはない）」が最も多く、次いで「受け入れている」となっています。

⑨外国人労働者の受け入れ意向

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	受け入れたい	51	25.6	29	15.9
2	受け入れたくない	25	12.6	38	20.9
3	わからない	119	59.8	105	57.7
	不明・無回答	4	2.0	10	5.5
	全体	199	100.0	182	100.0

外国人労働者の受け入れ意向は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「わからない」が最も多く、次いで施設・通所系事業所は「受け入れたい」、訪問系事業所は「受け入れたくない」となっています。

外国人労働者の受け入れ意向で「受け入れたくない」と答えた方

⑩受け入れたくない理由

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	日本人職員との意思疎通に支障があると思うから	7	28.0	16	42.1
2	利用者等との意思疎通に支障があると思うから	13	52.0	29	76.3
3	日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障があると思うから	6	24.0	18	47.4
4	生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから	9	36.0	25	65.8
5	業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから	8	32.0	11	28.9
6	受け入れ外国人の住居の確保が難しいと思うから	6	24.0	9	23.7
7	人件費以外に様々なコストがかかると思うから	6	24.0	8	21.1
8	ビザの手続きや在留資格の確認などの手続き方法がわからない・複雑そうに感じる	9	36.0	9	23.7
9	外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから	8	32.0	16	42.1
10	いずれ帰国してしまうなど、人材の定着にはつながらないと思うから	8	32.0	12	31.6
11	その他	4	16.0	2	5.3
12	特にない	4	16.0	2	5.3
	不明・無回答	0	0.0	1	2.6
	全体	25	100.0	38	100.0

受け入れたくない理由は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「利用者等との意思疎通に支障があると思うから」が最も多くなっていますが、施設・通所系事業所より訪問系事業所のほうが 24.3 ポイント多くなっています。

⑪興味・関心のある介護保険外サービス

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	配食	48	24.1	29	15.9
2	調理	24	12.1	48	26.4
3	掃除・洗濯	30	15.1	56	30.8
4	買い物（宅配は含まない）	47	23.6	59	32.4
5	ゴミ出し	30	15.1	60	33.0
6	外出同行（通院、買い物など）	74	37.2	83	45.6
7	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	45	22.6	34	18.7
8	見守り、声かけ	46	23.1	67	36.8
9	サロンなどの定期的な通いの場	45	22.6	27	14.8
10	認知症カフェ	53	26.6	22	12.1
11	その他	1	0.5	2	1.1
12	特にない	50	25.1	40	22.0
	不明・無回答	8	4.0	14	7.7
	全体	199	100.0	182	100.0

興味・関心のある介護保険外サービスは、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「外出同行（通院、買い物など）」が最も多くなっています。次いで施設・通所系事業所は「認知症カフェ」、訪問系事業所は「見守り、声かけ」となっています。

⑫事業を運営する上での問題等

No.	カテゴリー名	施設・通所系		訪問系	
		n	%	n	%
1	今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない	89	44.7	79	43.4
2	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境の改善をしたくてもできない	49	24.6	45	24.7
3	良質な人材の確保が難しい	100	50.3	133	73.1
4	新規利用者の確保が難しい	46	23.1	64	35.2
5	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	27	13.6	37	20.3
6	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	19	9.5	30	16.5
7	管理者の指導・管理能力が不足している	12	6.0	31	17.0
8	教育・研修の時間が十分に取れない	53	26.6	81	44.5
9	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	8	4.0	20	11.0
10	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	5	2.5	16	8.8
11	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	11	5.5	46	25.3
12	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	17	8.5	21	11.5
13	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	63	31.7	84	46.2
14	雇用管理等についての情報や指導が不足している	7	3.5	16	8.8
15	その他	9	4.5	5	2.7
16	特に問題はない	6	3.0	7	3.8
	不明・無回答	2	1.0	6	3.3
	全体	199	100.0	182	100.0

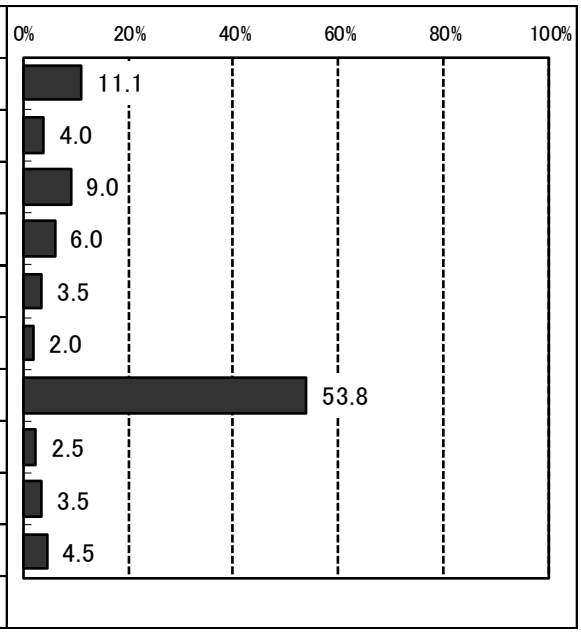
事業を運営する上での問題等は、施設・通所系事業所、訪問系事業所ともに「良質な人材の確保が難しい」が最も多くなっています。次いで施設・通所系事業所は「今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない」、訪問系事業所は「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている」となっています。

第３章　施設・通所系事業所調査結果

１．貴事業所について

問１　該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（１つに○）

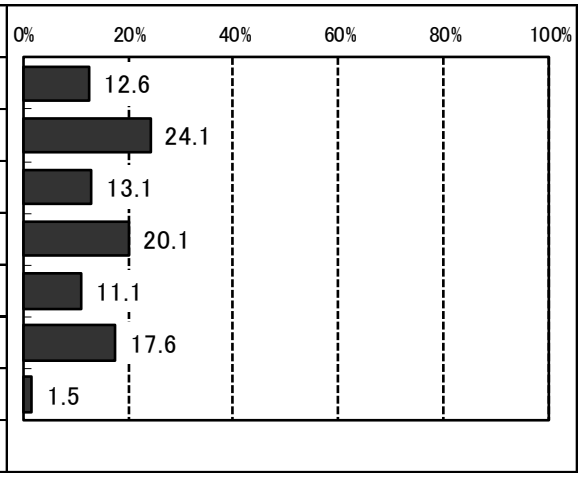
区分		
特別養護老人ホーム（地域密着型含む）	(n=22)	11.1
介護老人保健施設	(n=8)	4.0
ショートステイ	(n=18)	9.0
グループホーム	(n=12)	6.0
特定施設（地域密着型含む）	(n=7)	3.5
軽費老人ホーム	(n=4)	2.0
通所介護（地域密着型含む）	(n=107)	53.8
通所リハビリテーション	(n=5)	2.5
認知症対応型通所介護	(n=7)	3.5
不明・無回答	(n=9)	4.5
全体	(n=199)	



「通所介護（地域密着型含む)」が 53.8%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム（地域密着型含む)」が 11.1%、「ショートステイ」が 9.0%で続いています。

問２　貴事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください。（１つに○）

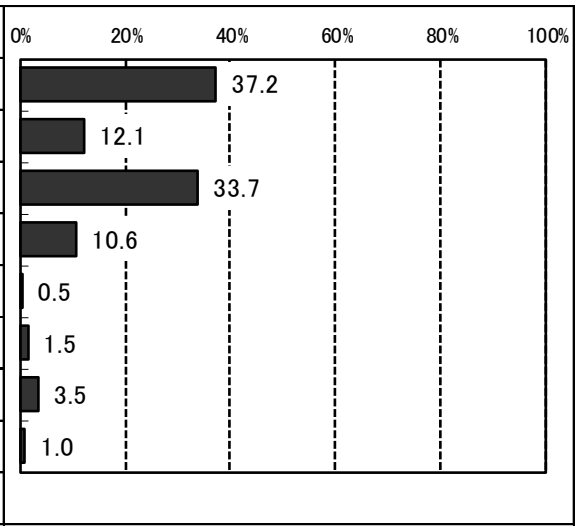
区分		
中央	(n=25)	12.6
小田	(n=48)	24.1
大庄	(n=26)	13.1
立花	(n=40)	20.1
武庫	(n=22)	11.1
園田	(n=35)	17.6
不明・無回答	(n=3)	1.5
全体	(n=199)	



「小田」が 24.1%で最も多く、次いで「立花」が 20.1%、「園田」が 17.6%で続いています。

問３　貴事業所の事業主体法人の種別をお答えください。（１つに◯）

区分		
株式会社	(n=74)	37.2
有限会社	(n=24)	12.1
社会福祉法人	(n=67)	33.7
医療法人	(n=21)	10.6
財団法人・社団法人	(n=1)	0.5
NPO法人	(n=3)	1.5
その他	(n=7)	3.5
不明・無回答	(n=2)	1.0
全体	(n=199)	

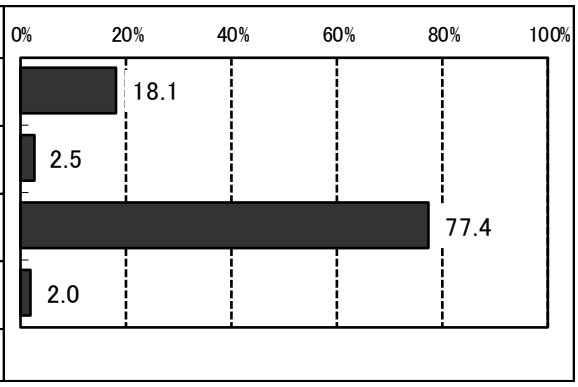


「株式会社」が 37.2%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が 33.7%、「有限会社」が 12.1%で続いています。

問４　現在提供されているサービスの稼働状況について、現在の状況と新型コロナウイルス流行以前（おおむね令和２年２月時点）の状況をお答えください。（それぞれ１つに〇）

①新型コロナウイルス以前の状況

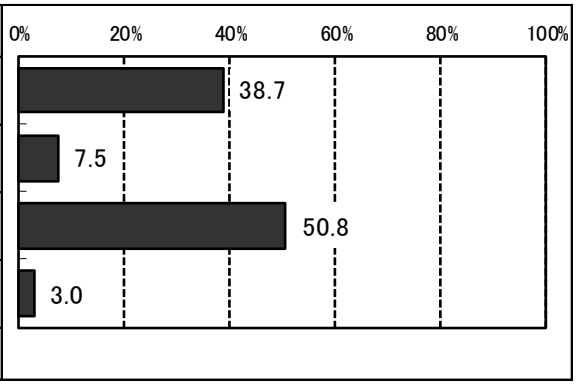
区分		
人員体制は整っていたが、利用ニーズがなかった（少なかった）	(n=36)	18.1
人員が不足していて、受け入れ数を制限していた	(n=5)	2.5
サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れていた	(n=154)	77.4
不明・無回答	(n=4)	2.0
全体	(n=199)	



「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れていた」が 77.4%で最も多く、次いで「人員体制は整っていたが、利用ニーズがなかった（少なかった）」が 18.1%、「人員が不足していて、受け入れ数を制限していた」が 2.5%で続いています。

②現在の状況

区分		
人員体制は整っているが、利用ニーズがない（少ない）	(n=77)	38.7
人員が不足しており、受け入れ数を制限せざるを得ない	(n=15)	7.5
サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている	(n=101)	50.8
不明・無回答	(n=6)	3.0
全体	(n=199)	



「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が 50.8%で最も多く、次いで「人員体制は整っているが、利用ニーズがない（少ない）」が 38.7%、「人員が不足しており、受け入れ数を制限せざるを得ない」が 7.5%で続いています。

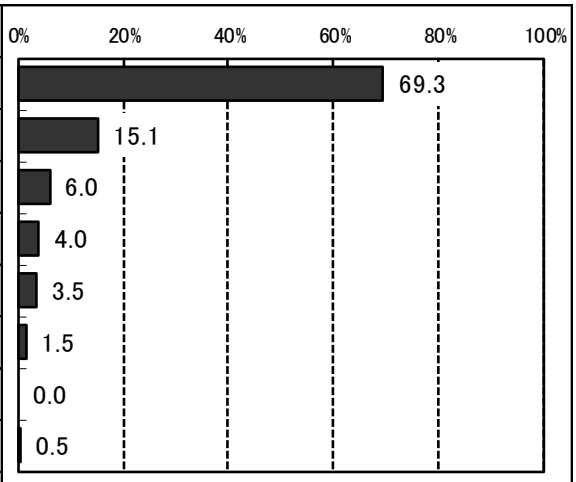
２．職員の採用、人材等について

問５　貴事業所等（問１で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員（実務者研修終了等の有資格者、無資格者、介護福祉士）について、おうかがいします。

問５－１　介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

■正規職員数

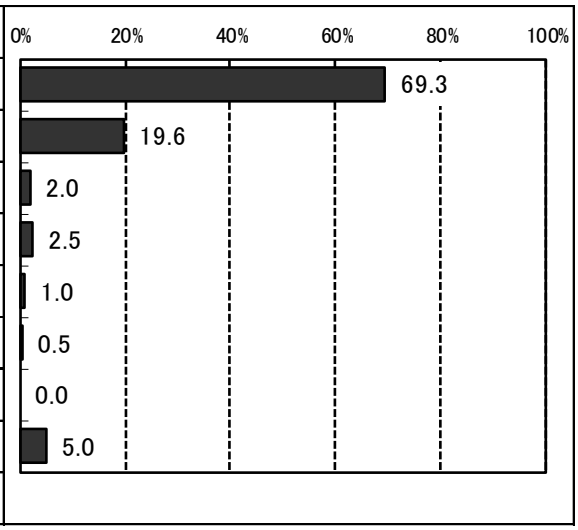
区分		
9人以下	(n=138)	69.3
10～19人	(n=30)	15.1
20～29人	(n=12)	6.0
30～39人	(n=8)	4.0
40～49人	(n=7)	3.5
50～99人	(n=3)	1.5
100人以上	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=1)	0.5
全体	(n=199)	



「9 人以下」が 69.3%で最も多く、次いで「10～19 人」が 15.1%、「20～29 人」が 6.0%で続いています。平均は 10.0 人となっています。

■非正規職員数

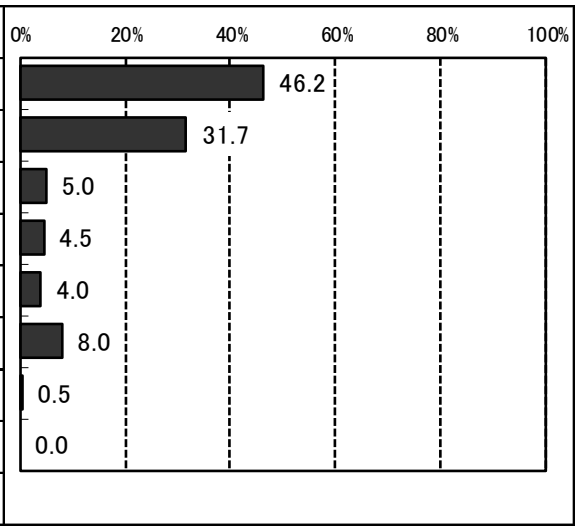
区分	
9人以下	(n=138)
10～19人	(n=39)
20～29人	(n=4)
30～39人	(n=5)
40～49人	(n=2)
50～99人	(n=1)
100人以上	(n=0)
不明・無回答	(n=10)
全体	(n=199)



「9 人以下」が 69.3%で最も多く、次いで「10～19 人」が 19.6%、「30～39 人」が 2.5%で続いています。平均は 7.7 人となっています。

■職員数合計

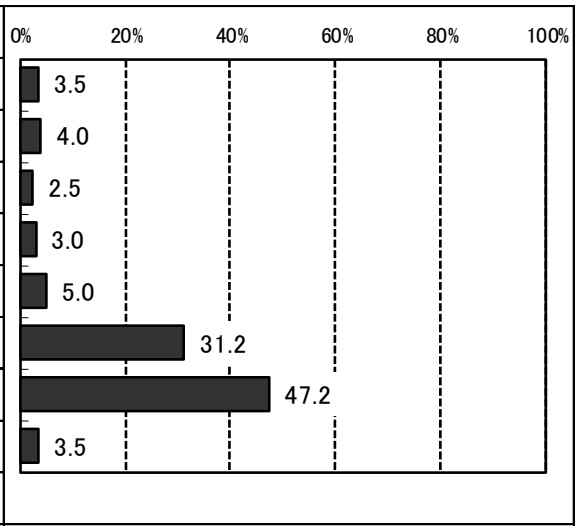
区分	
9人以下	(n=92)
10～19人	(n=63)
20～29人	(n=10)
30～39人	(n=9)
40～49人	(n=8)
50～99人	(n=16)
100人以上	(n=1)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=199)



「9 人以下」が 46.2%で最も多く、次いで「10～19 人」が 31.7%、「50～99 人」が 8.0%で続いています。平均は 17.4 人となっています。

問５－２　貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（開設後の経過年数）

区分		
1年未満	(n=7)	3.5
1年以上2年未満	(n=8)	4.0
2年以上3年未満	(n=5)	2.5
3年以上4年未満	(n=6)	3.0
4年以上5年未満	(n=10)	5.0
5年以上10年未満	(n=62)	31.2
10年以上	(n=94)	47.2
不明・無回答	(n=7)	3.5
全体	(n=199)	



「10 年以上」が 47.2%で最も多く、次いで「5 年以上 10 年未満」が 31.2%、「4 年以上 5 年未満」が 5.0%で続いています。

問５－３　令和２年７月１日時点で、開設から１年以上を経過している施設等におうかがいします。過去１年間（令和元年７月１日～令和２年６月 30 日）の介護職員の採用者数と離職者数について、年齢別・正規・非正規の別をご記入ください。

■採用者

年齢（採用時）	採用者数			正規･非正規採用者構成比		年齢別採用者構成比		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	合計
20 歳未満	14	26	40	35.0%	65.0%	4.1%	5.3%	4.8%
20～29 歳	81	92	173	46.8%	53.2%	23.6%	18.6%	20.6%
30～39 歳	68	89	157	43.3%	56.7%	19.8%	18.0%	18.7%
40～49 歳	85	113	198	42.9%	57.1%	24.8%	22.8%	23.6%
50～59 歳	69	92	161	42.9%	57.1%	20.1%	18.6%	19.2%
60～69 歳	25	70	95	26.3%	73.7%	7.3%	14.1%	11.3%
70～79 歳	1	13	14	7.1%	92.9%	0.3%	2.6%	1.7%
年齢不明	0	0	0	－	－	0.0%	0.0%	0.0%
全体	343	495	838	40.9%	59.1%	100.0%	100.0%	100.0%

採用者の雇用形態は、全体で「非正規職員」が 59.1%、「正規職員」が 40.9%となっています。年代別にみると、どの年代も「正規職員」より「非正規職員」のほうが多くなっています。

年齢別に採用状況をみると、正規・非正規職員ともに 40～49 歳が最も多くなっています。

■離職者

年齢（離職時）	離職者数			正規･非正規離職数構成比		年齢別離職者構成比		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	合計
20 歳未満	8	5	13	61.5%	38.5%	2.5%	1.5%	2.0%
20～29 歳	76	66	142	53.5%	46.5%	23.5%	20.2%	21.9%
30～39 歳	90	36	126	71.4%	28.6%	27.9%	11.0%	19.4%
40～49 歳	80	89	169	47.3%	52.7%	24.8%	27.3%	26.0%
50～59 歳	57	75	132	43.2%	56.8%	17.6%	23.0%	20.3%
60～69 歳	12	43	55	21.8%	78.2%	3.7%	13.2%	8.5%
70～79 歳	0	11	11	0.0%	100.0%	0.0%	3.4%	1.7%
年齢不明	0	1	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.3%	0.2%
全体	323	326	649	49.8%	50.2%	100.0%	100.0%	100.0%

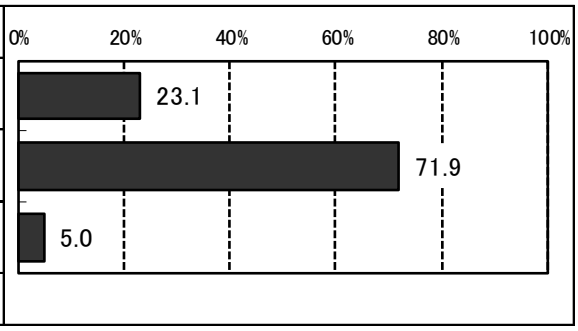
離職者の雇用形態は、全体で「非正規職員」が 50.2%、「正規職員」が 49.8%となっています。年齢別にみると、39 歳以下の年代は「正規職員」、40 歳以上の年代は「非正規職員」が多くなっています。

年齢別に離職状況をみると、「正規職員」は 30～39 歳、「非正規職員」は 40～49 歳が最も多くなっています。

問５－４　新規職員の採用（パート・アルバイト等を含む）にあたり、新型コロナウイルス流行による影響はありましたか。（あてはまるものすべてに〇）

■採用による影響

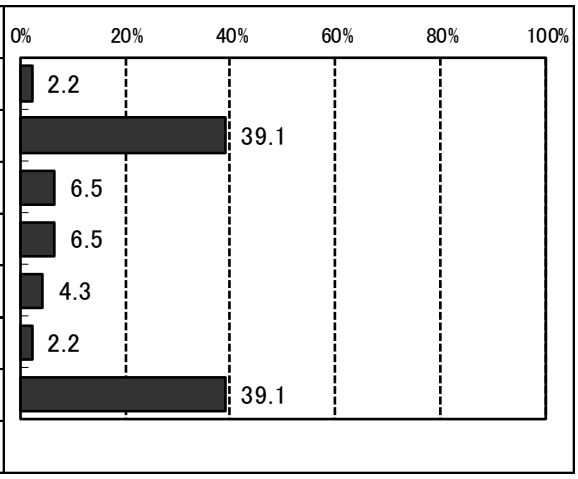
区分		
募集活動の延期・応募者の辞退などがあり、採用時期に遅れが生じている	(n=46)	23.1
影響はなかった	(n=143)	71.9
不明・無回答	(n=10)	5.0
全体	(n=199)	



「影響はなかった」が 71.9%、「募集活動の延期・応募者の辞退などがあり、採用時期に遅れが生じている」が 23.1%となっています。

■影響のあった人数

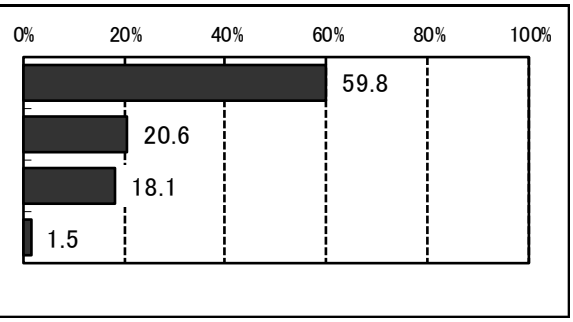
区分		
0人	(n=1)	2.2
1人	(n=18)	39.1
2人	(n=3)	6.5
3人	(n=3)	6.5
5人	(n=2)	4.3
6人	(n=1)	2.2
不明・無回答	(n=18)	39.1
全体	(n=46)	



「1 人」が 39.1%で最も多く、次いで「2 人」と「3 人」が、ともに 6.5%、「5 人」が 4.3%で続いています。

問６　貴事業所において介護職員は十分に配置されていると思いますか。（１つに○）

区分		
十分に配置されている	(n=119)	59.8
突然の退職等があり、現在は十分でない	(n=41)	20.6
十分に配置されていない状態が従前から続いている	(n=36)	18.1
不明・無回答	(n=3)	1.5
全体	(n=199)	



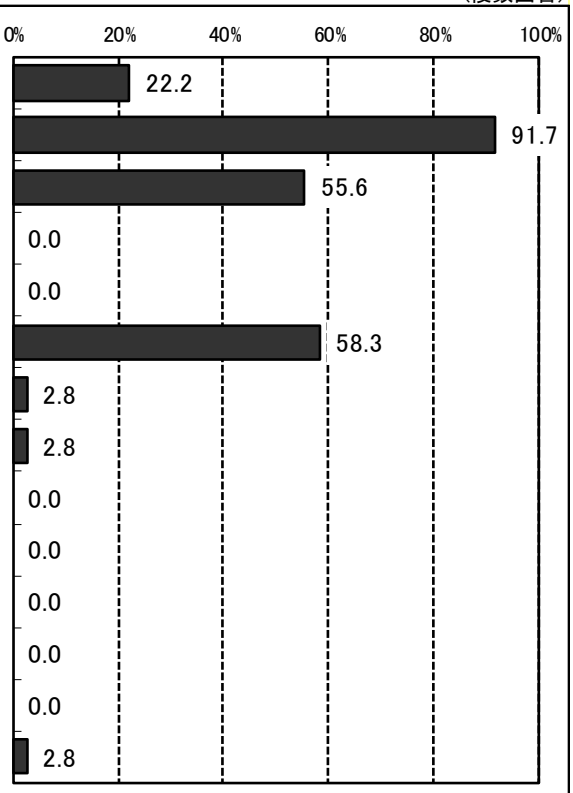
「十分に配置されている」が 59.8%で最も多く、次いで「突然の退職等があり、現在は十分でない」が 20.6%、「十分に配置されていない状態が従前から続いている」が 18.1%で続いています。

問6で「3. 十分に配置されていない状態が従前から続いている」と答えた方

問７　貴事業所において不足している職種をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

区分		
看護師、保健師	(n=8)	22.2
訪問介護員（実務者研修修了等）	(n=33)	91.7
介護職員（無資格）	(n=20)	55.6
主任介護支援専門員	(n=0)	0.0
介護支援専門員	(n=0)	0.0
介護福祉士	(n=21)	58.3
社会福祉士	(n=1)	2.8
理学療法士	(n=1)	2.8
作業療法士	(n=0)	0.0
言語聴覚士	(n=0)	0.0
栄養士	(n=0)	0.0
事務員	(n=0)	0.0
その他	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=1)	2.8
全体	(n=36)	

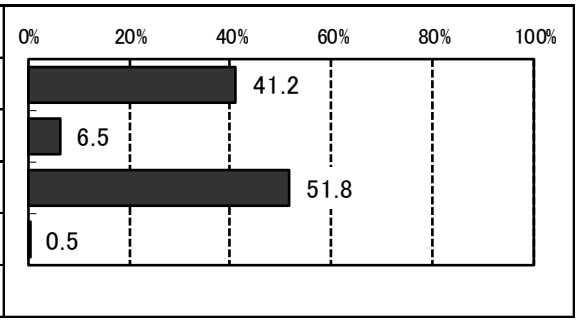


「訪問介護員（実務者研修修了等）」が 91.7%で最も多く、次いで「介護福祉士」が 58.3%、「介護職員（無資格）」が 55.6%で続いています。

問８　貴事業所において入浴補助、配膳、清掃、ベッドメイクなどに業務を限定した人材（退職した高齢者や子育てなどにより短時間勤務を望む人など）を雇用していますか。（１つに○）

■業務を限定した人材の雇用状況

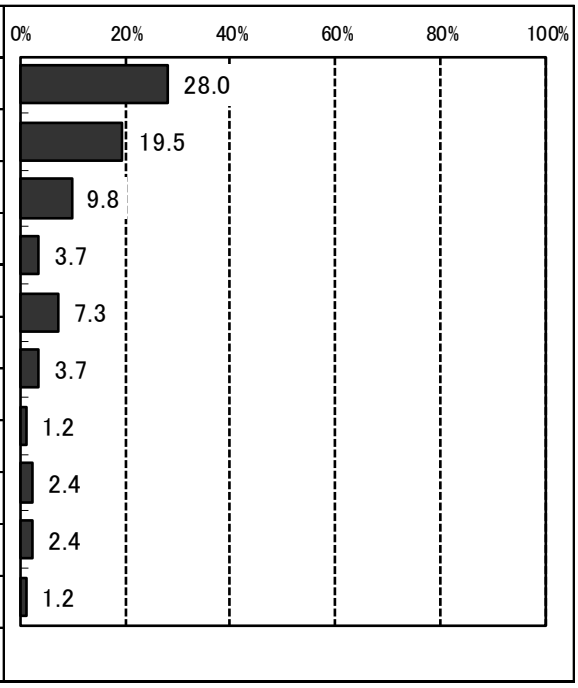
区分	
雇用している	(n=82)
募集しているが、応募がない	(n=13)
雇用していない	(n=103)
不明・無回答	(n=1)
全体	(n=199)



「雇用していない」が 51.8%で最も多く、次いで「雇用している」が 41.2%、「募集しているが、応募がない」が 6.5%で続いています。

■雇用人数

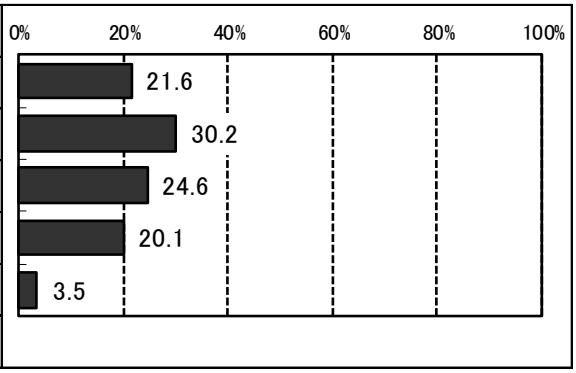
区分	
1人	(n=23)
2人	(n=16)
3人	(n=8)
4人	(n=3)
5人	(n=6)
6人	(n=3)
12人	(n=1)
15人	(n=2)
17人	(n=2)
20人	(n=1)
不明・無回答	(n=17)
全体	(n=82)



「1 人」が 28.0%で最も多く、次いで「2 人」が 19.5%、「3 人」が 9.8%で続いています。

問９　今後、貴事業所において入浴補助、配膳、清掃、ベッドメイクなどに業務を限定した人材（退職した高齢者や子育てなどにより短時間勤務を望む人など）を雇用したいと思いますか。（１つに〇）

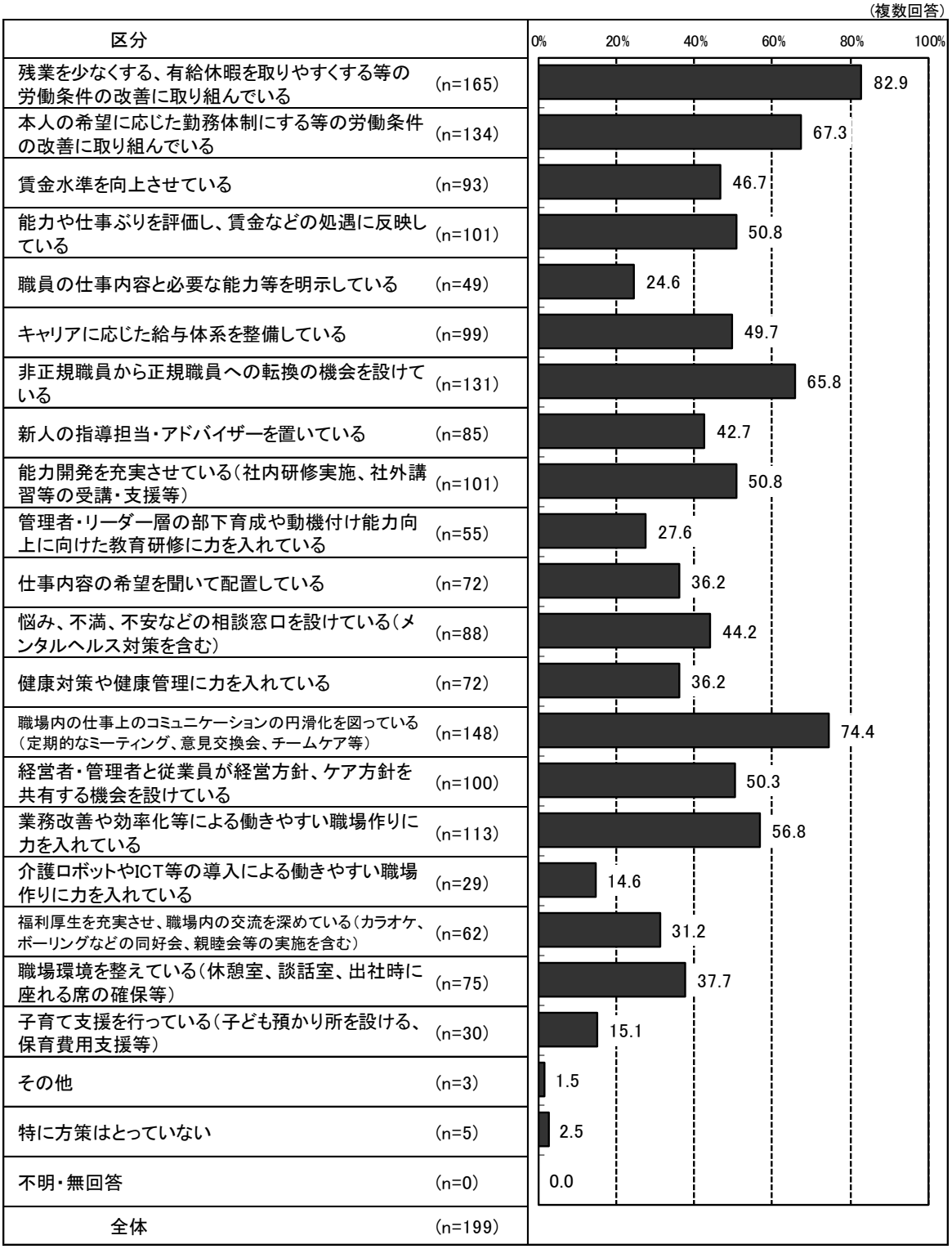
区分		
雇用したい（求人中である）	(n=43)	21.6
雇用したい（現在求人は出していない、検討中）	(n=60)	30.2
雇用する予定はない	(n=49)	24.6
わからない	(n=40)	20.1
不明・無回答	(n=7)	3.5
全体	(n=199)	



「雇用したい（現在求人は出していない、検討中）」が 30.2%で最も多く、次いで「雇用する予定はない」が 24.6%、「雇用したい（求人中である）」が 21.6%で続いています。

問 10　貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。（あてはまるものすべてに〇）

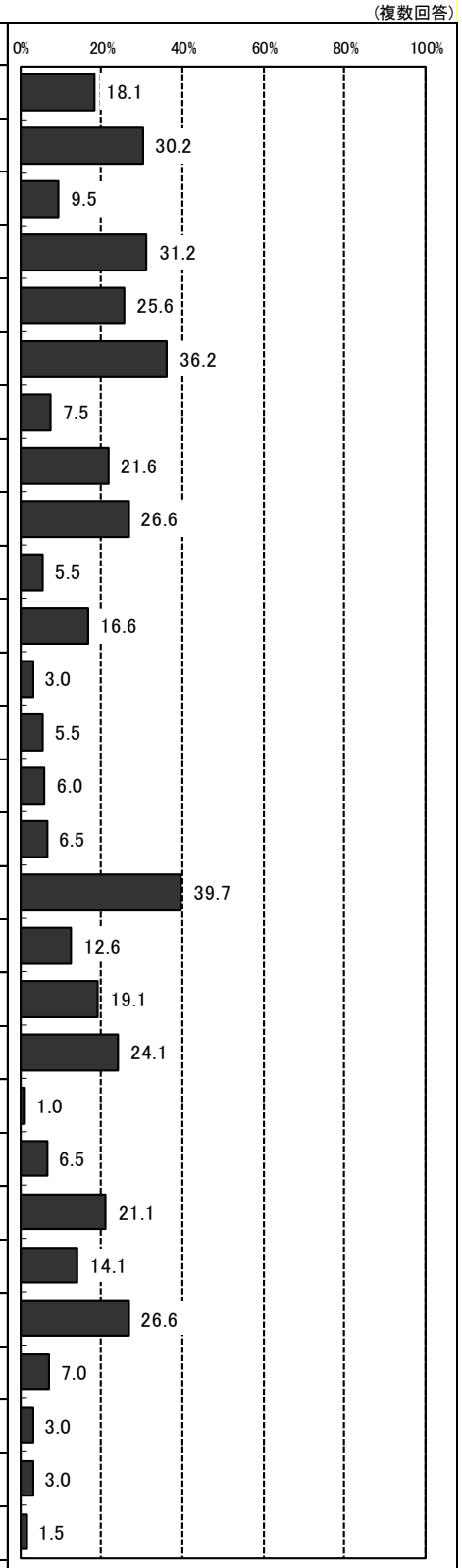
（複数回答）



「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 82.9%で最も多く、次いで「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）」が 74.4%、「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 67.3%で続いています。

問 11　介護人材確保・定着等に対する支援について、以下の中で効果が高いと思うものはありますか。（５つまで〇）

（複数回答）



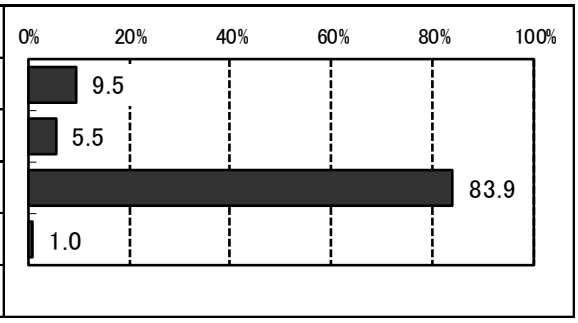
区分		
地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進	(n=36)	18.1
若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験	(n=60)	30.2
高齢者など地域の住民による生活支援の担い手の養成	(n=19)	9.5
介護実習の受入施設・事業所に対し、円滑化に向けた経費の助成	(n=62)	31.2
大学や専門学校を対象とした求人活動への援助	(n=51)	25.6
介護未経験者に対する研修支援	(n=72)	36.2
中高年の介護就労促進に向けたボランティアセンターとシルバー人材センター等の連携強化事業	(n=15)	7.5
介護事業所におけるインターンシップ・職場体験の実施に対する助成	(n=43)	21.6
介護分野での就労未経験者の就労・定着促進に向けた支援	(n=53)	26.6
キャリア支援専門員の配置による求人・求職のマッチング機能の強化	(n=11)	5.5
介護に関する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的な支援	(n=33)	16.6
生活援助従事者研修の受講支援等からマッチングまでの一体的な支援	(n=6)	3.0
留学生に対する日本語学習等の課外授業実施への経費の助成	(n=11)	5.5
介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給	(n=12)	6.0
留学生と介護施設等のマッチング支援	(n=13)	6.5
介護人材キャリアアップ研修に対する支援	(n=79)	39.7
各種研修に係る代替要員の確保に対する助成	(n=25)	12.6
潜在介護福祉士の再就業促進に対する助成	(n=38)	19.1
認知症ケアに携わる人材育成のための研修に対する助成	(n=48)	24.1
権利擁護人材の育成に対する経費の助成	(n=2)	1.0
介護予防促進に向けたOT、PT、STの指導者育成に対する助成	(n=13)	6.5
新人介護職員に対するエルダー、メンター（新人指導担当者）制度等導入のための研修	(n=42)	21.1
管理者等に対する雇用管理改善方策の普及（雇用管理改善の説明会、介護ロボット導入支援等）	(n=28)	14.1
介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営支援	(n=53)	26.6
介護サービス事業所等の職員に対するベビーシッターの派遣	(n=14)	7.0
その他	(n=6)	3.0
わからない	(n=6)	3.0
不明・無回答	(n=3)	1.5
全体	(n=199)	

「介護人材キャリアアップ研修に対する支援」が 39.7%で最も多く、次いで「介護未経験者に対する研修支援」が 36.2%、「介護実習の受入施設・事業所に対し、円滑化に向けた経費の助成」が 31.2%で続いています。

３．外国人労働者の受け入れについて

問 12　介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。（１つに○）

区分		
受け入れている	(n=19)	9.5
受け入れていたが、今は受け入れていない	(n=11)	5.5
受け入れていない（受け入れたことはない）	(n=167)	83.9
不明・無回答	(n=2)	1.0
全体	(n=199)	



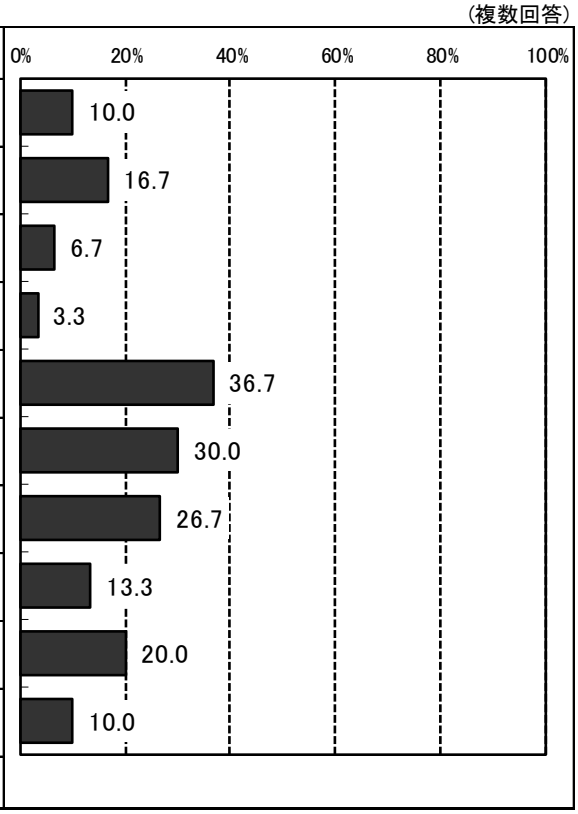
「受け入れていない（受け入れたことはない）」が 83.9%で最も多く、次いで「受け入れている」が 9.5%、「受け入れていたが、今は受け入れていない」が 5.5%で続いています。

問 12 で「1. 受け入れている」「2. 受け入れていたが、今は受け入れていない」と答えた方

問 13　外国人の雇用に際し、どのようなことを配慮していますか（配慮していましたか）。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

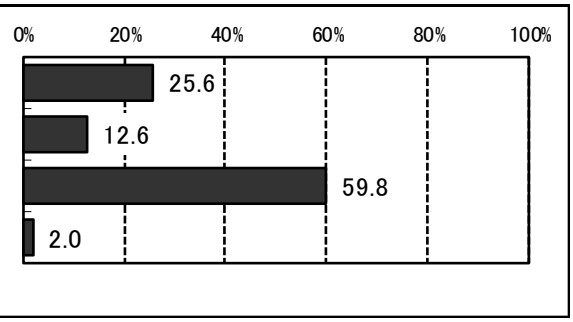
区分		
コミュニケーションツール（翻訳アプリ等）を導入している（していた）	(n=3)	10.0
外国人雇用者向けの相談員、指導員等を配置している（していた）	(n=5)	16.7
外国人雇用者の言語で作成したケアマニュアルなどを準備している（していた）	(n=2)	6.7
外国人への日常生活等の相談窓口（ひょうご外国人介護実習センター等）を案内している（していた）	(n=1)	3.3
住居（寮など）を提供している（していた）	(n=11)	36.7
仕事以外の地域・生活面への支援を行っている（いた）	(n=9)	30.0
日本人職員に対し、外国人雇用者の国の文化や生活習慣等について研修している（していた）	(n=8)	26.7
その他	(n=4)	13.3
特にない	(n=6)	20.0
不明・無回答	(n=3)	10.0
全体	(n=30)	



「住居（寮など）を提供している（していた）」が 36.7%で最も多く、次いで「仕事以外の地域・生活面への支援を行っている（いた）」が 30.0%、「日本人職員に対し、外国人雇用者の国の文化や生活習慣等について研修している（していた）」が 26.7%で続いています。

問 14　今後（または引き続き）、外国人労働者を受け入れる予定はありますか。（１つに○）

区分	
受け入れたい	(n=51)
受け入れたくない	(n=25)
わからない	(n=119)
不明・無回答	(n=4)
全体	(n=199)



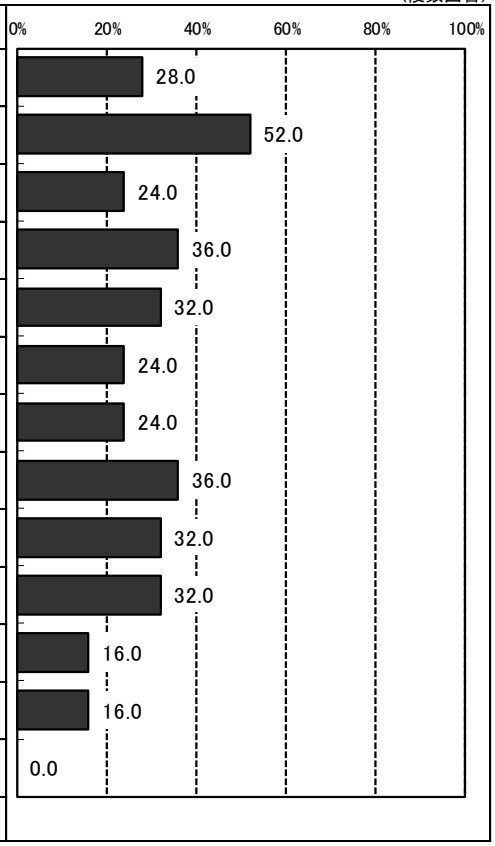
「わからない」が 59.8%で最も多く、次いで「受け入れたい」が 25.6%、「受け入れたくない」が 12.6%で続いています。

問 14 で「2. 受け入れたくない」と答えた方

問 15　理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

区分	
日本人職員との意思疎通に支障があると思うから	(n=7)
利用者等との意思疎通に支障があると思うから	(n=13)
日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障があると思うから	(n=6)
生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから	(n=9)
業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから	(n=8)
受け入れ外国人の住居の確保が難しいと思うから	(n=6)
人件費以外に様々なコストがかかると思うから	(n=6)
ビザの手続きや在留資格の確認などの手続き方法がわからない・複雑そうに感じる	(n=9)
外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから	(n=8)
いずれ帰国してしまうなど、人材の定着にはつながらないと思うから	(n=8)
その他	(n=4)
特にない	(n=4)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=25)



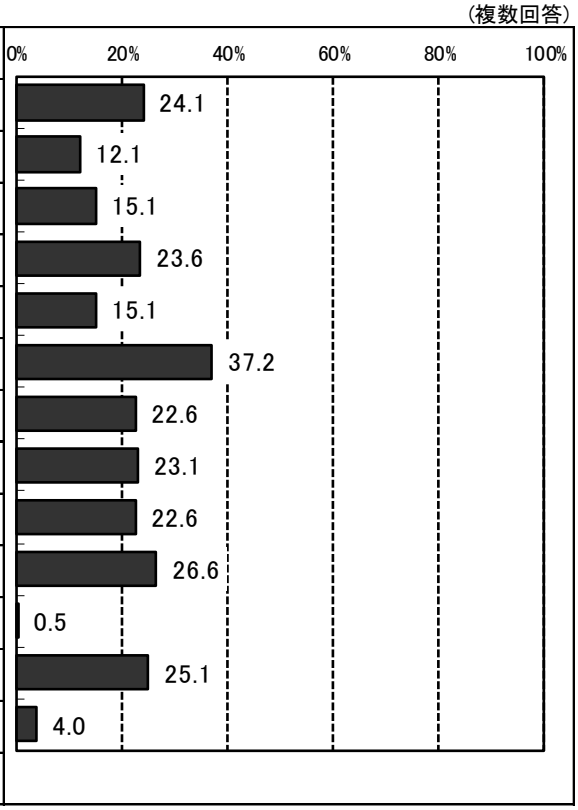
「利用者等との意思疎通に支障があると思うから」が 52.0%で最も多く、次いで「生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから」と「ビザの手続きや在留資格の確認などの手続き方法がわからない・複雑そうに感じる」が、ともに 36.0%、「業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから」と「外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから」と「いずれ帰国してしまうなど、人材の定着にはつながらないと思うから」が、ともに 32.0%で続いています。

４．事業運営等について

問 16　以下の介護保険外サービス（総合事業によるサービスを含む）で、実施することに興味・関心はありますか。（実施しているサービスも含む）（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

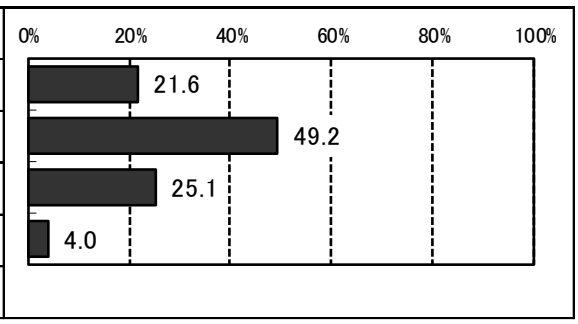
区分		
配食	(n=48)	24.1
調理	(n=24)	12.1
掃除・洗濯	(n=30)	15.1
買い物（宅配は含まない）	(n=47)	23.6
ゴミ出し	(n=30)	15.1
外出同行（通院、買い物など）	(n=74)	37.2
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	(n=45)	22.6
見守り、声かけ	(n=46)	23.1
サロンなどの定期的な通いの場	(n=45)	22.6
認知症カフェ	(n=53)	26.6
その他	(n=1)	0.5
特にない	(n=50)	25.1
不明・無回答	(n=8)	4.0
全体	(n=199)	



「外出同行（通院、買い物など）」が 37.2％で最も多く、次いで「認知症カフェ」が 26.6％、「特にない」が 25.1％で続いています。

問 17　地域貢献の一環として、高齢者のボランティアの受け入れ（利用者の話し相手、花壇等の手入れ、配膳補助等）についてどのようにお考えですか。（１つに○）

区分		
受け入れている	(n=43)	21.6
受け入れたいが現在は受け入れていない	(n=98)	49.2
受け入れる予定はない	(n=50)	25.1
不明・無回答	(n=8)	4.0
全体	(n=199)	



「受け入れたいが現在は受け入れていない」が 49.2％で最も多く、次いで「受け入れる予定はない」が 25.1％、「受け入れている」が 21.6％で続いています。

問 17 で「1. 受け入れている」と答えた方

問 18　高齢者のボランティアの内容について教えてください。

ボランティアの内容	有償・無償の状況	有償時の料金	交通費等の提供金額
ドライヤーのボランティア。	無償	－	－
ドライヤーのボランティア。	無償	－	－
紙芝居	無償	－	－
傾聴（つるの巣会）	無償	－	－
傾聴（つるの巣会）	無償	－	－
居室の清掃。	無償	－	－
入居者さんとの散歩、話し相手。	無償	－	－
介護相談員	無償	－	－
押し花、講師。	無償	－	－
押し花、講師。	無償	－	－
利用者の話し相手。	有償	500	－
傾聴ボランティア	無償	－	－
マジックショー	無償	－	－
社協様	無償	－	－
手品ボランティア	有償	500	－
傾聴ボランティア	無償	－	－
傾聴ボランティア	無償	－	－
ふき布切り	無償	－	－
朗読ボランティア	無償	－	－
ピアノの演奏を行ってもらい利用者との交流。	無償	－	－
傾聴	無償	－	－
入居者様の話し相手、外出援助。	無償	－	－
傾聴	無償	－	－
習字	無償	－	－
習字	無償	－	－
イベント手伝い	無償	－	－
盆踊り		－	－
音楽療法…音楽を通じてストレスをとったり、コミュニケーションを取ったりする。	有償	10,000	－
朝のお茶出しから、リハ機器等の用意や昼食時の配膳まで、を手伝ってもらっています。	無償	－	－

ボランティアの内容	有償・無償の状況	有償時の料金	交通費等の提供金額
配膳補助、デイサービスフロアのキッチン洗い物。	有償	5,000	－
デイサービス送り出し準備、30分程度。	有償	1,000	－
傾聴（2グループ特養・デイサービス）	無償	－	－
傾聴（2グループ特養・デイサービス）	無償	－	－
話し相手、生け花、習字、喫茶、大正琴（園田苑のボランティアグループ）	無償	－	－
花壇の手入れ。	無償	－	－
花壇の手入れ。	無償	－	－
傾聴（2グループ特養・デイサービス）	無償	－	－
話し相手、生け花、習字、喫茶、大正琴（園田苑のボランティアグループ）	無償	－	－
傾聴ボランティア	無償	－	－
食器洗いのボランティア。	無償	－	－
食器洗い。	無償	－	－
演奏	無償	－	－
琴遊会（大正琴）	無償	－	－
琴遊会（大正琴）	無償	－	－
喫茶	有償	－	－
コーラス	無償	－	－
コーラス	無償	－	－
中国の楽器二胡の生演奏。	無償	－	－
詩吟ボランティア	交通費・昼食等提供	－	－
傾聴ボランティア	無償	－	－
文字遊び	無償	－	－
編み物教室	無償	－	－
文字遊び	無償	－	－
外出レクの同行。	無償	－	－
踊り…盆踊りを利用者様達と行う。手足をなるべく動かせてもらう。	無償	－	－
フラダンスの方々が月一回、楽しく、フラをして下さいます（10人程で）。朗読や、手話の方々も月一回参加。	無償	－	－

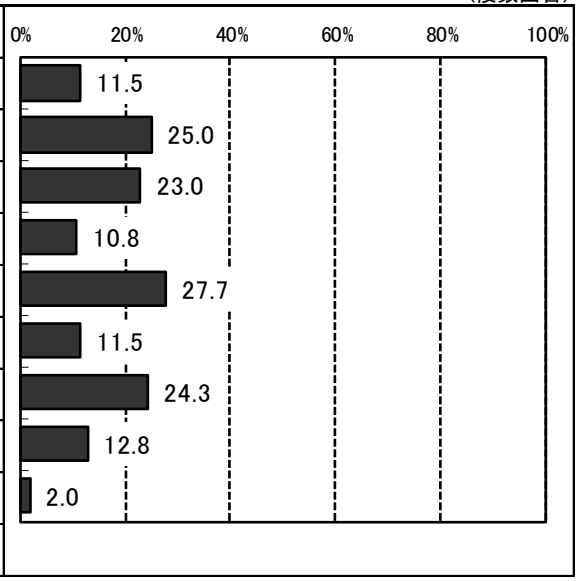
ボランティアの内容	有償・無償の状況	有償時の料金	交通費等の提供金額
外出付添い	有償	5,000	－
踊り	無償	－	－
踊り	無償	－	－
踊り	無償	－	－
庭・植木の手入れ。	無償	－	－
音楽演奏。	無償	－	－
マジック	無償	－	－
どんぐり（紙しばい）	無償	－	－
どんぐり（紙しばい）	無償	－	－
舞踊	無償	－	－
舞踊	無償	－	－
歌、舞踊。	無償	－	－
歌・舞踊。	無償	－	－
物品提供、話し相手。	無償	－	－
音楽療法…歌を唄いながら、口腔体操につなげています。	有償,交通費・昼食等提供	4,000	－
喫茶（2回／月）	無償	－	－
喫茶（2回／月）	無償	－	－
カラオケ	無償	－	－
喫茶（2回／月）	無償	－	－
カラオケ	無償	－	－
演奏、社交ダンス、傾聴等のボランティア。	無償	－	－

問 17 で「2. 受け入れたいが現在は受け入れていない」「3. 受け入れる予定はない」と答えた方

問 19　理由や課題について教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

（複数回答）

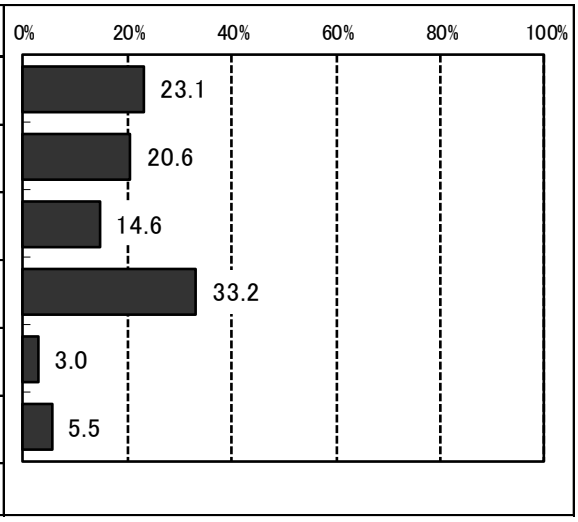
区分		
ボランティアを募集したが応募がなかった	(n=17)	11.5
ボランティアと時間調整等の連絡を行う人的余力がない	(n=37)	25.0
ボランティアを集める方法（手段）がわからない	(n=34)	23.0
ボランティアに関する相談窓口が見つからない（わからない）	(n=16)	10.8
ボランティアの転倒等による怪我のリスクが心配	(n=41)	27.7
利用者に抵抗感があると思われる	(n=17)	11.5
その他	(n=36)	24.3
特にない	(n=19)	12.8
不明・無回答	(n=3)	2.0
全体	(n=148)	



「ボランティアの転倒等による怪我のリスクが心配」が 27.7%で最も多く、次いで「ボランティアと時間調整等の連絡を行う人的余力がない」が 25.0%、「その他」が 24.3%で続いています。

問 20　貴事業所での地域へのスペース提供（体操やサロン等の実施場所等）について、どのようにお考えですか。（１つに〇）

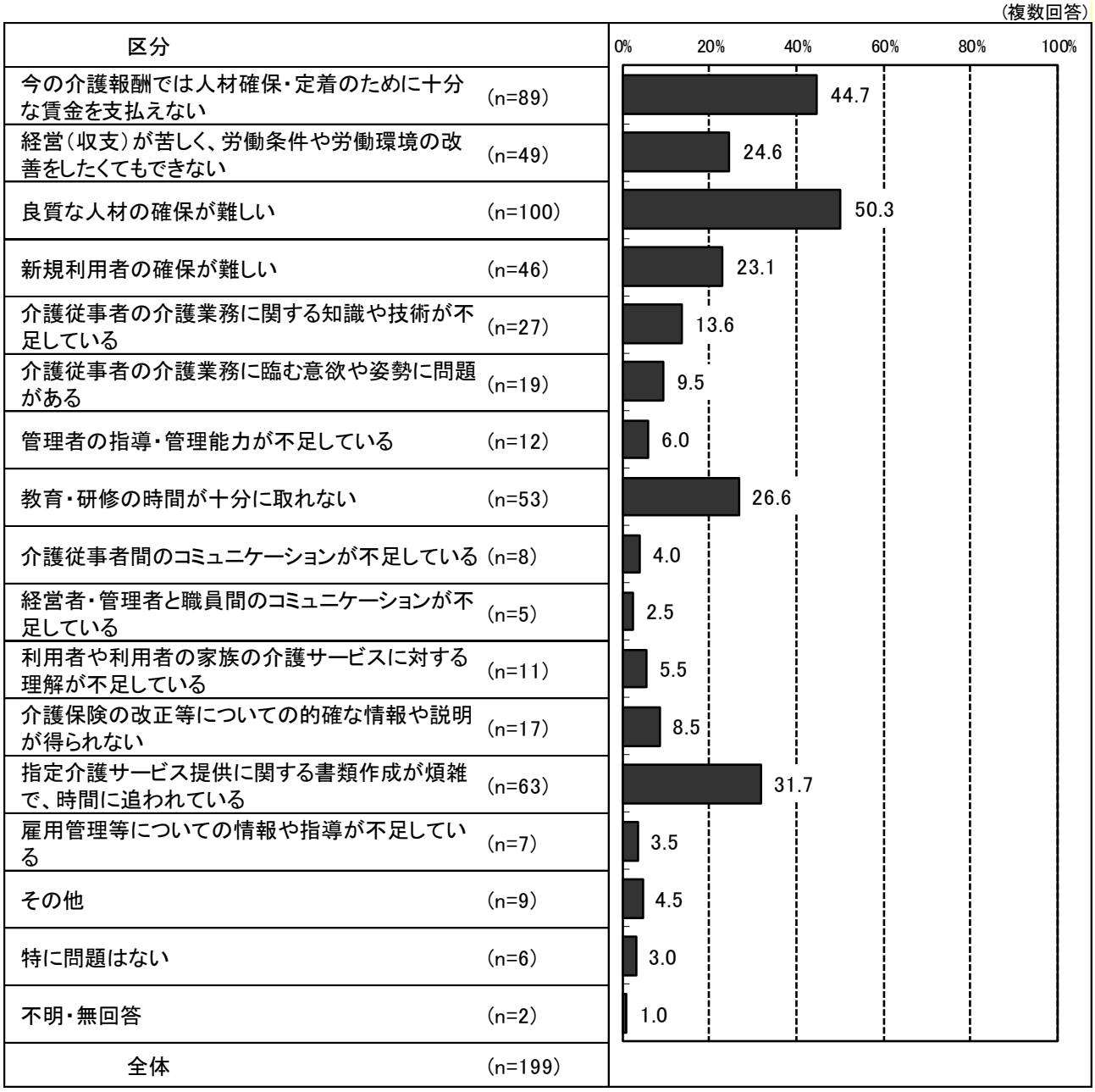
区分		
可能（現在も提供している場合も含む。）	(n=46)	23.1
施設管理等に係るスタッフの配置が必要なため現状は困難であるが、スタッフ人件費相当の補助等があれば可能	(n=41)	20.6
施設管理等に係るスタッフを配置できる人的余裕がないため困難	(n=29)	14.6
スペースに余分がないため困難	(n=66)	33.2
その他の理由で困難	(n=6)	3.0
不明・無回答	(n=11)	5.5
全体	(n=199)	



「スペースに余分がないため困難」が 33.2%で最も多く、次いで「可能（現在も提供している場合も含む。）」が 23.1%、「施設管理等に係るスタッフの配置が必要なため現状は困難であるが、スタッフ人件費相当の補助等があれば可能」が 20.6%で続いています。

問 21　事業を運営する上で問題等はありますか。（３つまで○）

（複数回答）

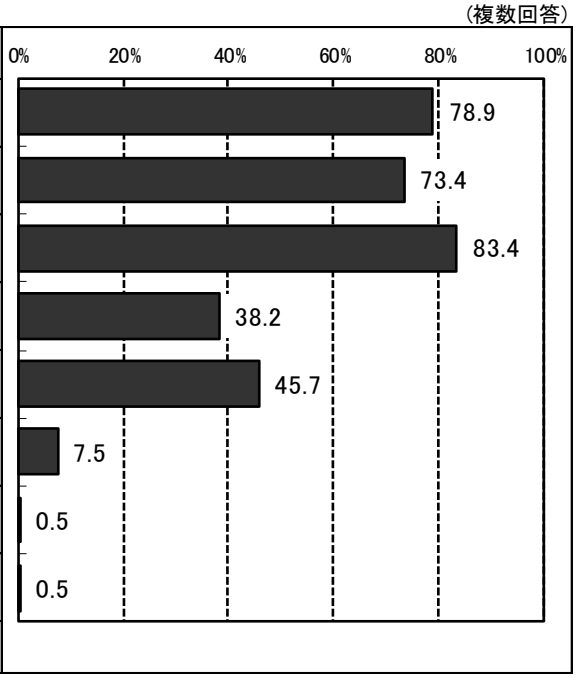


「良質な人材の確保が難しい」が 50.3%で最も多く、次いで「今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない」が 44.7%、「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている」が 31.7%で続いています。

問 22　感染症対策について、事業所の対応として新型コロナウイルスの流行によって変更等したものはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

（複数回答）

区分		
感染症対策の指針やマニュアルの見直し等を行った（行う予定である）	(n=157)	78.9
職員に対し感染症対策の研修会を行った（行う予定である）	(n=146)	73.4
備蓄品の見直し等を行った（行う予定である）	(n=166)	83.4
WEB面会（タブレット等を介した面会）の環境を整備した（整備予定である）	(n=76)	38.2
感染症が発生した場合の対応方針等について、利用者や家族と共有した（共有予定である）	(n=91)	45.7
その他	(n=15)	7.5
特にない、対応ができてない	(n=1)	0.5
不明・無回答	(n=1)	0.5
全体	(n=199)	



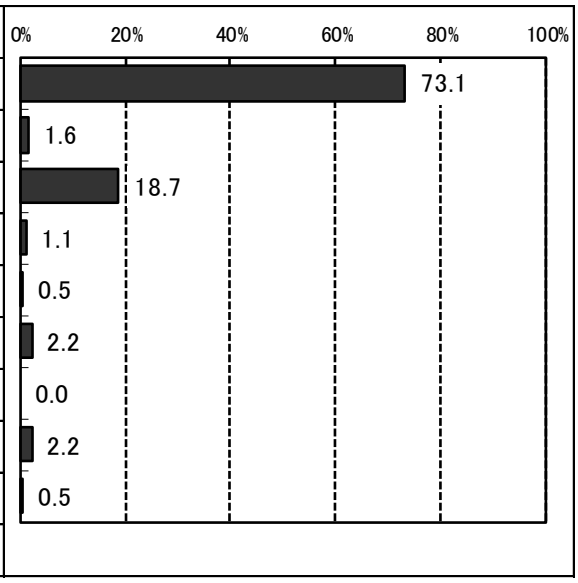
「備蓄品の見直し等を行った（行う予定である）」が 83.4%で最も多く、次いで「感染症対策の指針やマニュアルの見直し等を行った（行う予定である）」が 78.9%、「職員に対し感染症対策の研修会を行った（行う予定である）」が 73.4%で続いています。

第４章　訪問系事業所調査結果

１．貴事業所について

問１　該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（１つに○）

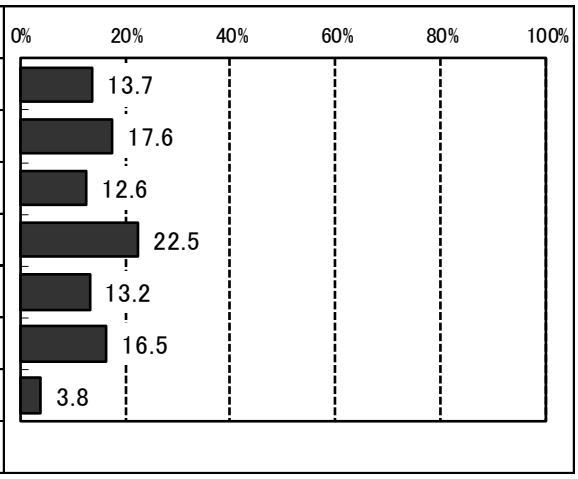
区分		
訪問介護（総合事業含む）	(n=133)	73.1
訪問入浴	(n=3)	1.6
訪問看護	(n=34)	18.7
訪問リハビリテーション	(n=2)	1.1
夜間対応型訪問介護	(n=1)	0.5
小規模多機能型居宅介護	(n=4)	2.2
看護小規模多機能型居宅介護	(n=0)	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(n=4)	2.2
不明・無回答	(n=1)	0.5
全体	(n=182)	



「訪問介護（総合事業含む）」が 73.1％で最も多く、次いで「訪問看護」が 18.7％、「小規模多機能型居宅介護」と「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が、ともに 2.2％で続いています。

問２　貴事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください。（１つに○）

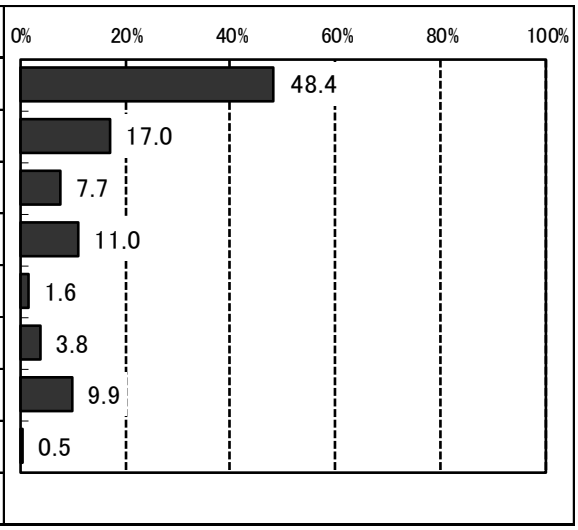
区分		
中央	(n=25)	13.7
小田	(n=32)	17.6
大庄	(n=23)	12.6
立花	(n=41)	22.5
武庫	(n=24)	13.2
園田	(n=30)	16.5
不明・無回答	(n=7)	3.8
全体	(n=182)	



「立花」が 22.5％で最も多く、次いで「小田」が 17.6％、「園田」が 16.5％で続いています。

問３　貴事業所の事業主体法人の種別をお答えください。（１つに◯）

区分	
株式会社	(n=88)
有限会社	(n=31)
社会福祉法人	(n=14)
医療法人	(n=20)
財団法人・社団法人	(n=3)
NPO法人	(n=7)
その他	(n=18)
不明・無回答	(n=1)
全体	(n=182)

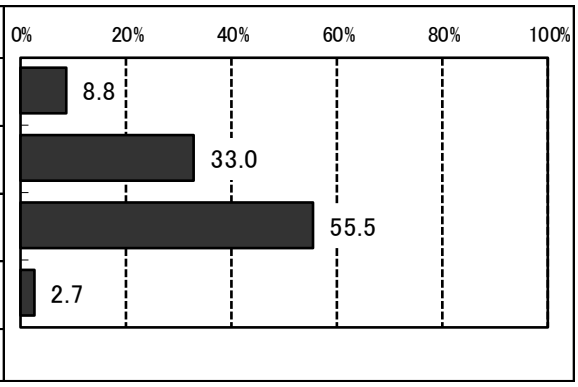


「株式会社」が 48.4%で最も多く、次いで「有限会社」が 17.0%、「医療法人」が 11.0%で続いています。

問４　現在提供されているサービスの稼働状況について、現在の状況と新型コロナウイルス流行以前（おおむね令和２年２月時点）の状況をお答えください。（それぞれ１つに〇）

①新型コロナウイルス以前の状況

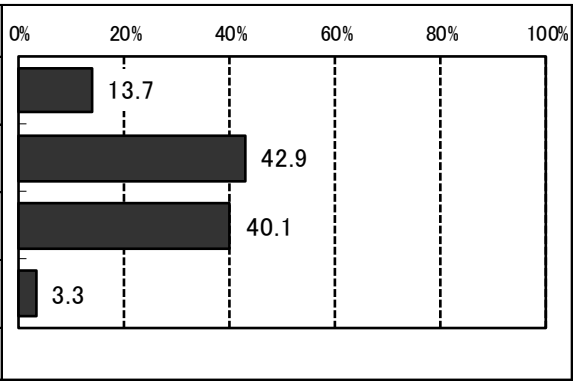
区分	
人員体制は整っていたが、利用ニーズがなかった（少なかった）	(n=16)
人員が不足していて、受け入れ数を制限していた	(n=60)
サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れていた	(n=101)
不明・無回答	(n=5)
全体	(n=182)



「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れていた」が 55.5%で最も多く、次いで「人員が不足していて、受け入れ数を制限していた」が 33.0%、「人員体制は整っていたが、利用ニーズがなかった（少なかった）」が 8.8%で続いています。

②現在の状況

区分		
人員体制は整っているが、利用ニーズがない（少ない）	(n=25)	13.7
人員が不足しており、受け入れ数を制限せざるを得ない	(n=78)	42.9
サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている	(n=73)	40.1
不明・無回答	(n=6)	3.3
全体	(n=182)	



「人員が不足しており、受け入れ数を制限せざるを得ない」が 42.9%で最も多く、次いで「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が 40.1%、「人員体制は整っているが、利用ニーズがない（少ない）」が 13.7%で続いています。

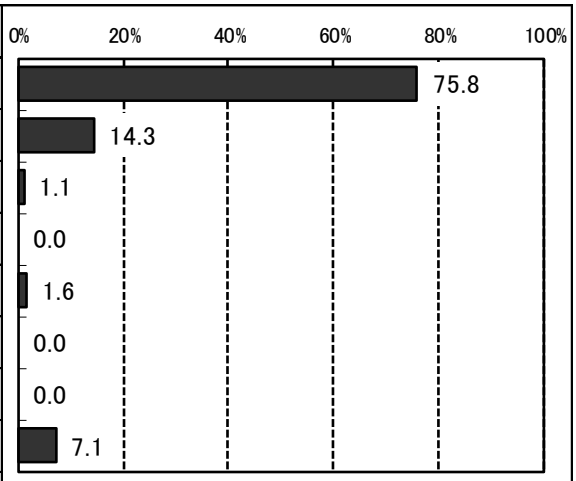
２．職員の採用、人材等について

問５　貴施設等（問１で〇をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員（実務者研修終了等の有資格者、無資格者、介護福祉士）について、おうかがいします。

問５－１　介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

■正規職員

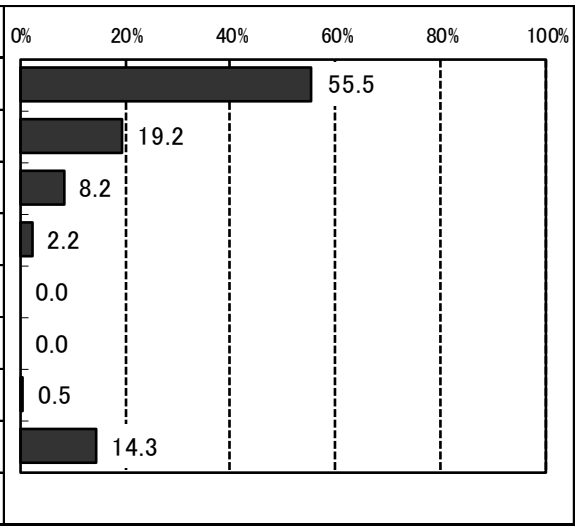
区分		
9人以下	(n=138)	75.8
10～19人	(n=26)	14.3
20～29人	(n=2)	1.1
30～39人	(n=0)	0.0
40～49人	(n=3)	1.6
50～99人	(n=0)	0.0
100人以上	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=13)	7.1
全体	(n=182)	



「9 人以下」が 75.8%で最も多く、次いで「10～19 人」が 14.3%、「40～49 人」が 1.6%で続いています。平均は 6.1 人となっています。

■非正規職員

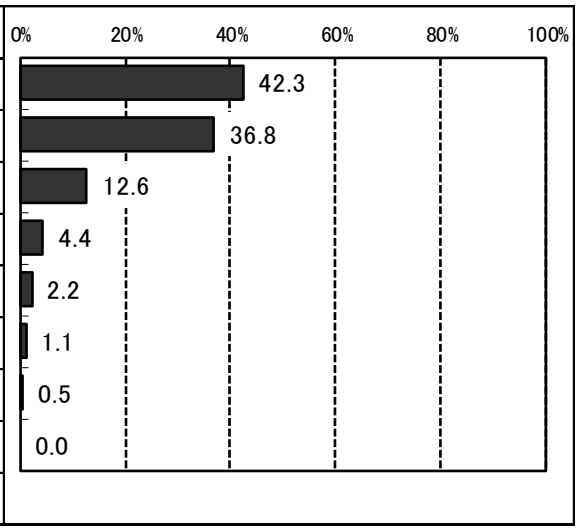
区分	
9人以下	(n=101)
10～19人	(n=35)
20～29人	(n=15)
30～39人	(n=4)
40～49人	(n=0)
50～99人	(n=0)
100人以上	(n=1)
不明・無回答	(n=26)
全体	(n=182)



「9 人以下」が 55.5%で最も多く、次いで「10～19 人」が 19.2%、「20～29 人」が 8.2%で続いています。平均は 9.8 人となっています。

■全職員

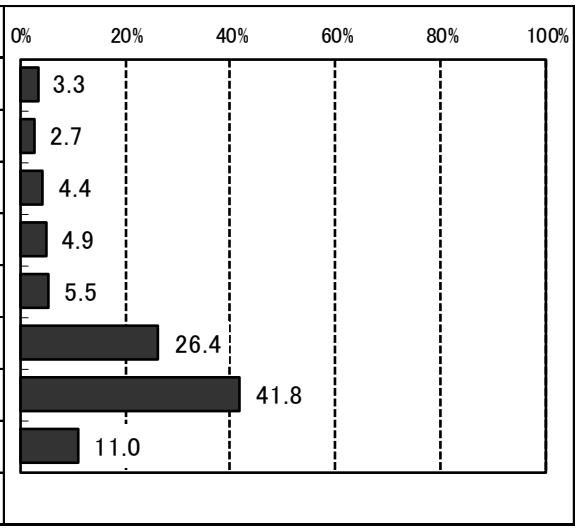
区分	
9人以下	(n=77)
10～19人	(n=67)
20～29人	(n=23)
30～39人	(n=8)
40～49人	(n=4)
50～99人	(n=2)
100人以上	(n=1)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=182)



「9 人以下」が 42.3%で最も多く、次いで「10～19 人」が 36.8%、「20～29 人」が 12.6%で続いています。平均は 14.1 人となっています。

問５－２　貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（開設後の経過年数）

区分		
1年未満	(n=6)	3.3
1年以上2年未満	(n=5)	2.7
2年以上3年未満	(n=8)	4.4
3年以上4年未満	(n=9)	4.9
4年以上5年未満	(n=10)	5.5
5年以上10年未満	(n=48)	26.4
10年以上	(n=76)	41.8
不明・無回答	(n=20)	11.0
全体	(n=182)	



「10 年以上」が 41.8％で最も多く、次いで「5 年以上 10 年未満」が 26.4％、「4 年以上 5 年未満」が 5.5％で続いています。

問５－３　令和２年７月１日時点で、開設から１年以上を経過している施設等におうかがいします。過去１年間（令和元年７月１日～令和２年６月 30 日）の介護職員の採用者数と離職者数について、年齢別・正規・非正規の別をご記入ください。

■採用者

年齢（採用時）	採用者数			正規･非正規採用者構成比		年齢別採用者構成比		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	合計
20 歳未満	3	1	4	75.0%	25.0%	1.1%	0.2%	0.6%
20～29 歳	35	29	64	54.7%	45.3%	13.0%	6.4%	8.9%
30～39 歳	33	43	76	43.4%	56.6%	12.2%	9.5%	10.5%
40～49 歳	67	94	161	41.6%	58.4%	24.8%	20.8%	22.3%
50～59 歳	90	103	193	46.6%	53.4%	33.3%	22.8%	26.8%
60～69 歳	37	107	144	25.7%	74.3%	13.7%	23.7%	20.0%
70～79 歳	5	54	59	8.5%	91.5%	1.9%	12.0%	8.2%
年齢不明	0	20	20	0.0%	100.0%	0.0%	4.4%	2.8%
全体	270	451	721	37.4%	62.6%	100.0%	100.0%	100.0%

採用者の雇用形態は、全体で「非正規職員」が 62.6%、「正規職員」が 37.4%となっています。年代別にみると、29 歳以下の年代は「正規職員」、30 歳以上の年代は「非正規職員」が最も多くなっています。

年齢別に採用状況をみると、「正規職員」は 50～59 歳、「非正規職員」は 60～69 歳が最も多くなっています。

■離職者

年齢（離職時）	離職者数			正規･非正規離職者構成比		年齢別離職者構成比		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	合計
20 歳未満	3	1	4	75.0%	25.0%	2.1%	0.4%	1.1%
20～29 歳	14	16	30	46.7%	53.3%	9.7%	6.9%	8.0%
30～39 歳	17	24	41	41.5%	58.5%	11.8%	10.3%	10.9%
40～49 歳	41	51	92	44.6%	55.4%	28.5%	21.9%	24.4%
50～59 歳	48	51	99	48.5%	51.5%	33.3%	21.9%	26.3%
60～69 歳	15	45	60	25.0%	75.0%	10.4%	19.3%	15.9%
70～79 歳	5	26	31	16.1%	83.9%	3.5%	11.2%	8.2%
年齢不明	1	19	20	5.0%	95.0%	0.7%	8.2%	5.3%
合計	144	233	377	38.2%	61.8%	100.0%	100.0%	100.0%

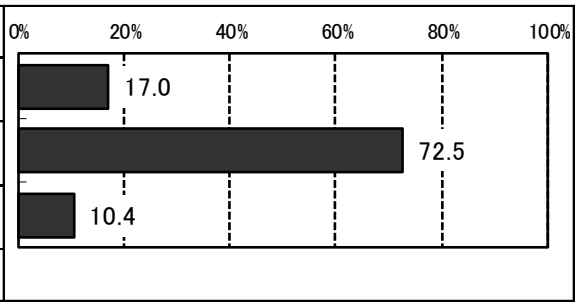
離職者の雇用形態は、全体で「非正規職員」が 61.8%、「正規職員」が 38.2%となっています。年代別にみると、29 歳以下の年代は「正規職員」、30 歳以上の年代は「非正規職員」が最も多くなっています。

年齢別に離職状況をみると、「正規職員」は 50～59 歳、「非正規職員」は 40～49 歳・50～59 歳が最も多くなっています。

問５－４　新規職員の採用（パート・アルバイト等を含む）にあたり、新型コロナウイルス流行による影響はありましたか。（あてはまるものすべてに〇）

■採用にあたっての影響の有無

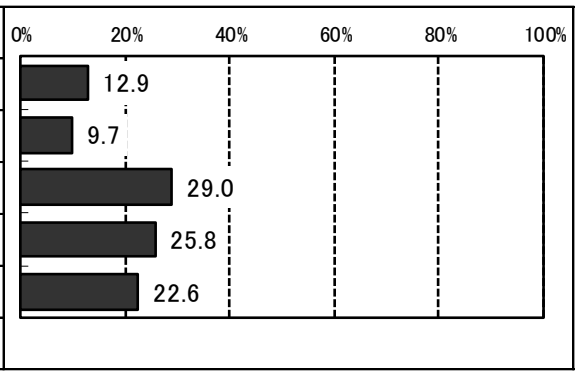
区分	
募集活動の延期・応募者の辞退などがあり、採用時期に遅れが生じている	(n=31)
影響はなかった	(n=132)
不明・無回答	(n=19)
全体	(n=182)



「影響はなかった」が 72.5%、「募集活動の延期・応募者の辞退などがあり、採用時期に遅れが生じている」が 17.0%となっています。

■影響のあった人数

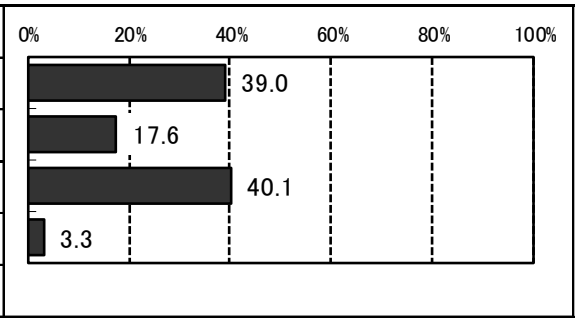
区分	
0人	(n=4)
1人	(n=3)
2人	(n=9)
3人	(n=8)
不明・無回答	(n=7)
全体	(n=31)



「2 人」が 29.0%で最も多く、次いで「3 人」が 25.8%、「0 人」が 12.9%で続いています。

問６　貴事業所において職員は十分に配置されていると思いますか。（１つに〇）

区分		
十分に配置されている	(n=71)	39.0
突然の退職等があり、現在は十分でない	(n=32)	17.6
十分に配置されていない状態が従前から続いている	(n=73)	40.1
不明・無回答	(n=6)	3.3
全体	(n=182)	



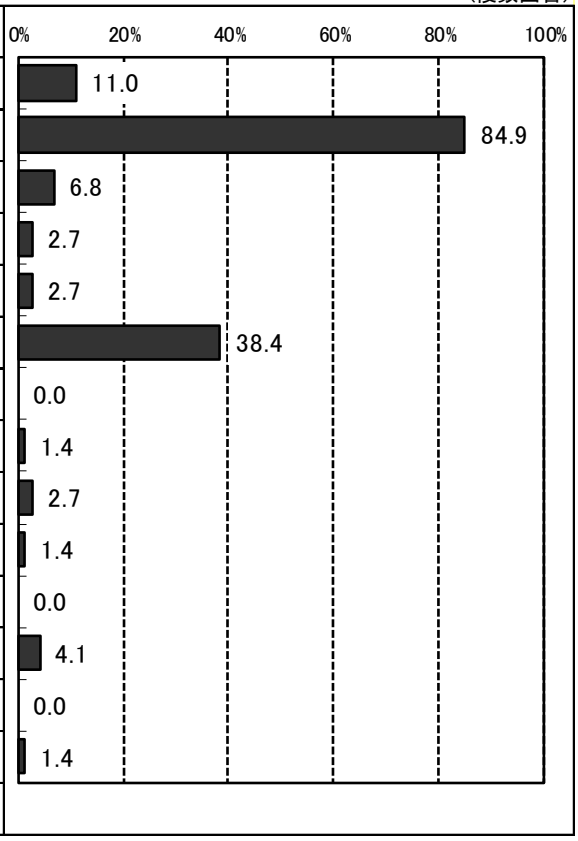
「十分に配置されていない状態が従前から続いている」が 40.1％で最も多く、次いで「十分に配置されている」が 39.0％、「突然の退職等があり、現在は十分でない」が 17.6％で続いています。

問6で「3. 十分に配置されていない状態が従前から続いている」と答えた方

問７　貴事業所において不足している職種をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

（複数回答）

区分		
看護師、保健師	(n=8)	11.0
訪問介護員（実務者研修修了等）	(n=62)	84.9
介護職員（無資格）	(n=5)	6.8
主任介護支援専門員	(n=2)	2.7
介護支援専門員	(n=2)	2.7
介護福祉士	(n=28)	38.4
社会福祉士	(n=0)	0.0
理学療法士	(n=1)	1.4
作業療法士	(n=2)	2.7
言語聴覚士	(n=1)	1.4
栄養士	(n=0)	0.0
事務員	(n=3)	4.1
その他	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=1)	1.4
全体	(n=73)	



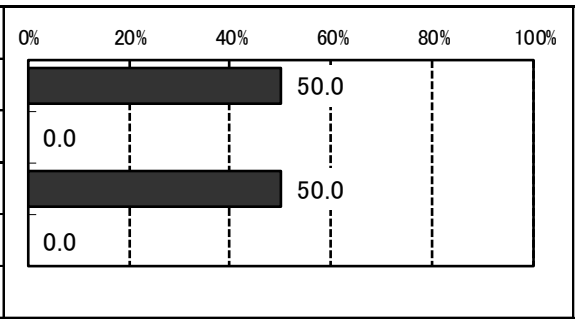
「訪問介護員（実務者研修修了等）」が 84.9％で最も多く、次いで「介護福祉士」が 38.4％、「看護師、保健師」が 11.0％で続いています。

問8～問9は「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」の事業所様のみお答えください。それ以外の事業所様は問 10 へお進みください。

問８　貴事業所において入浴補助、配膳、清掃、ベッドメイクなどに業務を限定した人材（退職した高齢者や子育てなどにより短時間勤務を望む人など）を雇用していますか。（１つに○）

■業務を限定した人材の雇用状況

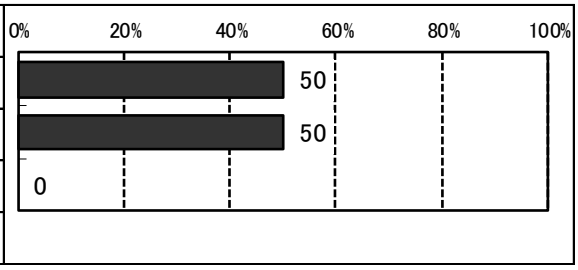
区分	
雇用している	(n=2)
募集しているが、応募がない	(n=0)
雇用していない	(n=2)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=4)



「雇用している」と「雇用していない」が、ともに 50.0％で最も多くなっています。

■雇用人数

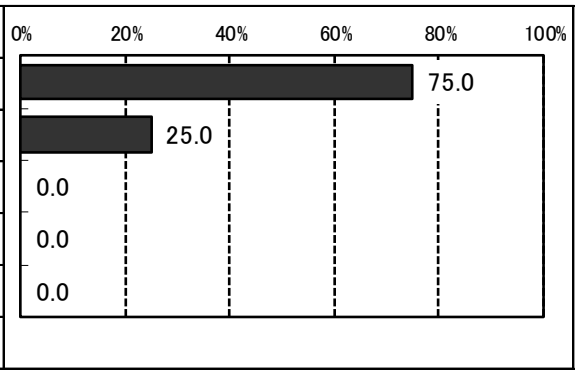
区分	
2人	(n=1)
4人	(n=1)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=2)



「2 人」と「4 人」が、ともに 50.0％となっています。

問９　今後、貴事業所において入浴補助、配膳、清掃、ベッドメイクなどに業務を限定した人材（退職した高齢者や子育てなどにより短時間勤務を望む人など）を雇用したいと思いますか。（１つに○）

区分	
雇用したい（求人中である）	(n=3)
雇用したい（現在求人は出していない、検討中）	(n=1)
雇用する予定はない	(n=0)
わからない	(n=0)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=4)



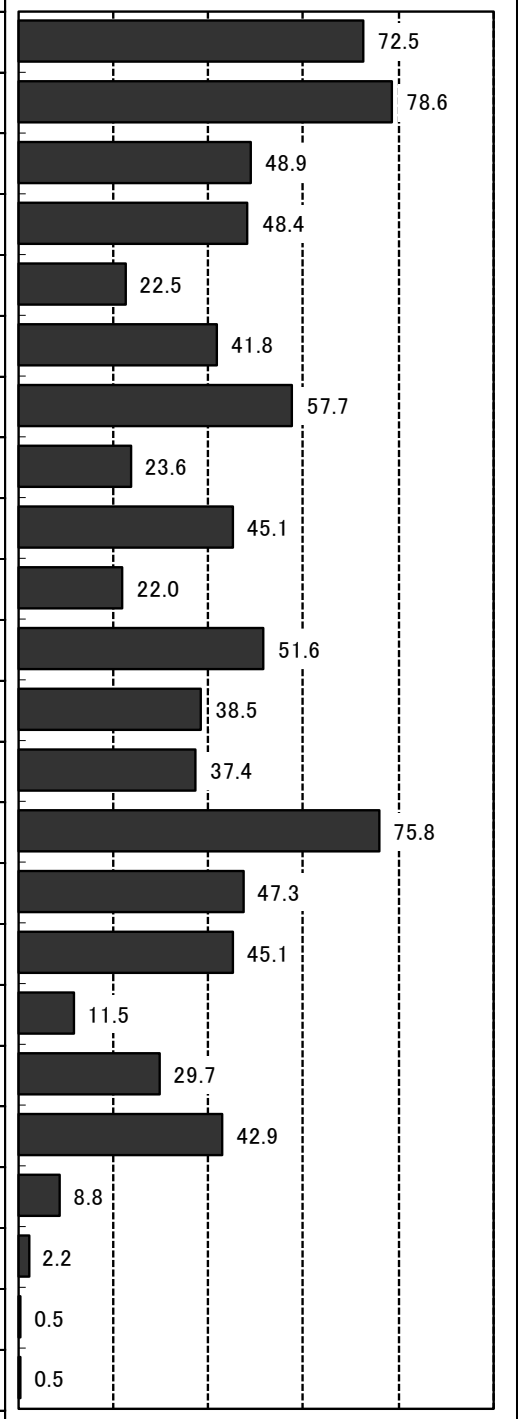
「雇用したい（求人中である）」が 75.0％で最も多く、次いで「雇用したい（現在求人は出していない、検討中）」が 25.0％で続いています。

ここからはすべての方がお答えください。

問 10　貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

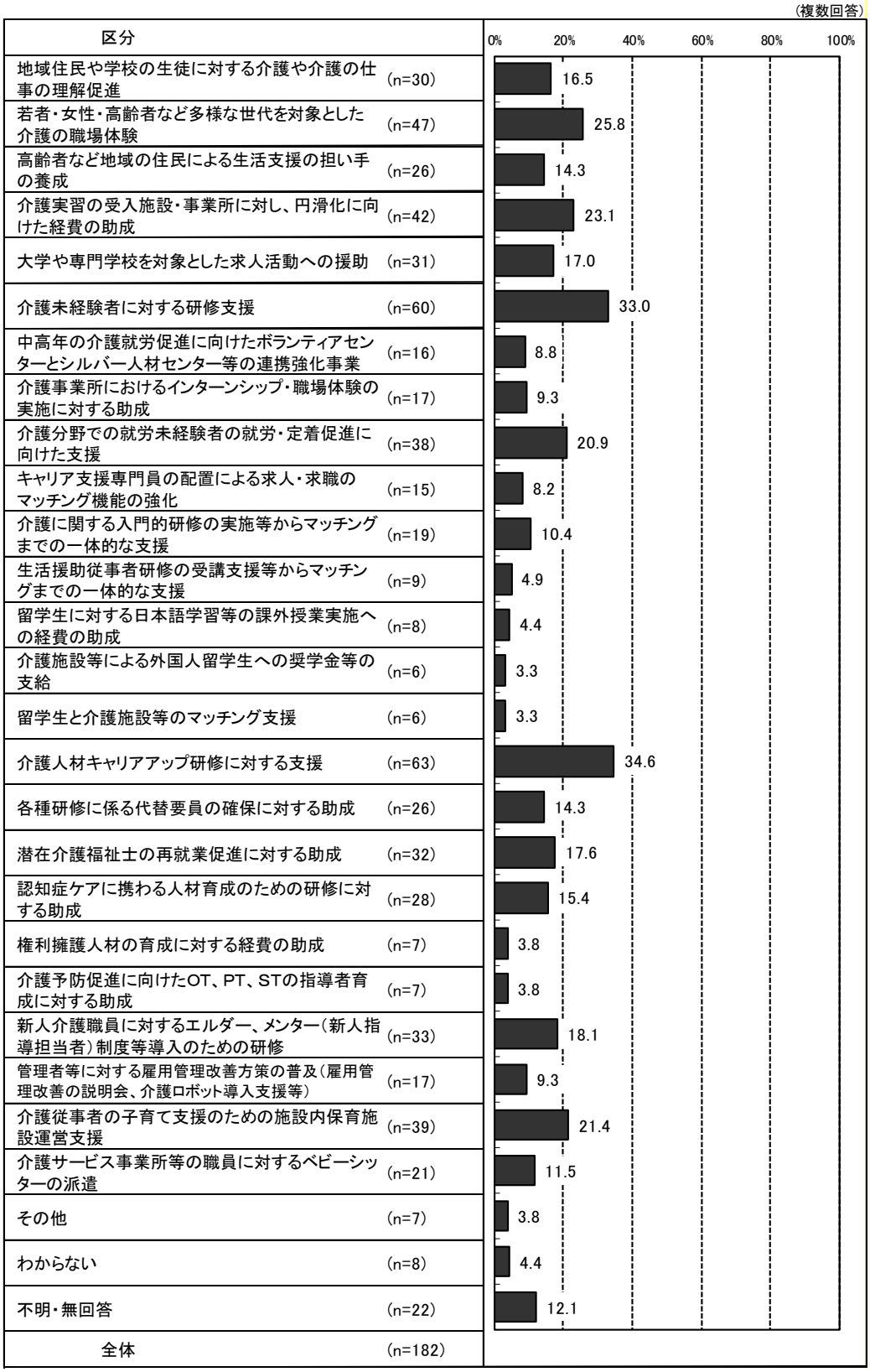
区分		
残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	(n=132)	72.5
本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	(n=143)	78.6
賃金水準を向上させている	(n=89)	48.9
能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	(n=88)	48.4
職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	(n=41)	22.5
キャリアに応じた給与体系を整備している	(n=76)	41.8
非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	(n=105)	57.7
新人の指導担当・アドバイザーを置いている	(n=43)	23.6
能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	(n=82)	45.1
管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	(n=40)	22.0
仕事内容の希望を聞いて配置している	(n=94)	51.6
悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	(n=70)	38.5
健康対策や健康管理に力を入れている	(n=68)	37.4
職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	(n=138)	75.8
経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	(n=86)	47.3
業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	(n=82)	45.1
介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	(n=21)	11.5
福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	(n=54)	29.7
職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	(n=78)	42.9
子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	(n=16)	8.8
その他	(n=4)	2.2
特に方策はとっていない	(n=1)	0.5
不明・無回答	(n=1)	0.5
全体	(n=182)	



「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 78.6%で最も多く、次いで「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）」が 75.8%、「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 72.5%で続いています。

問 11　介護人材確保・定着等に対する支援について、以下の中で効果が高いと思うものはありますか。（５つまで○）

（複数回答）

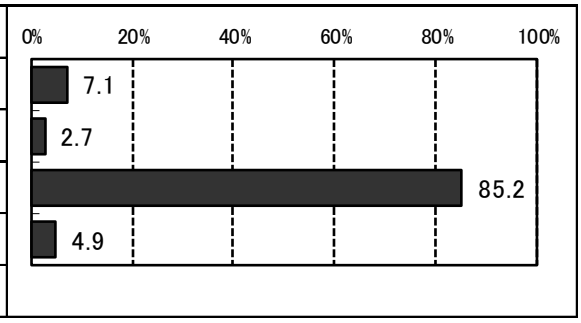


「介護人材キャリアアップ研修に対する支援」が 34.6％で最も多く、次いで「介護未経験者に対する研修支援」が 33.0％、「若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験」が 25.8％で続いています。

３．外国人労働者の受け入れについて

問 12　介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。（１つに○）

区分		
受け入れている	(n=13)	7.1
受け入れていたが、今は受け入れていない	(n=5)	2.7
受け入れていない（受け入れたことはない）	(n=155)	85.2
不明・無回答	(n=9)	4.9
全体	(n=182)	



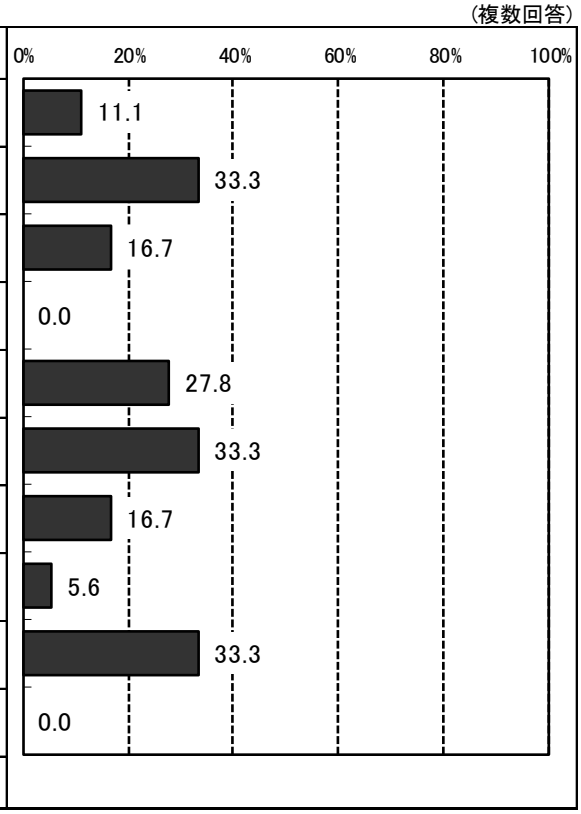
「受け入れていない（受け入れたことはない）」が 85.2％で最も多く、次いで「受け入れている」が 7.1％、「受け入れていたが、今は受け入れていない」が 2.7％で続いています。

問 12 で「1. 受け入れている」「2. 受け入れていたが、今は受け入れていない」と答えた方

問 13　外国人の雇用に際し、どのようなことを配慮していますか（配慮していましたか）。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

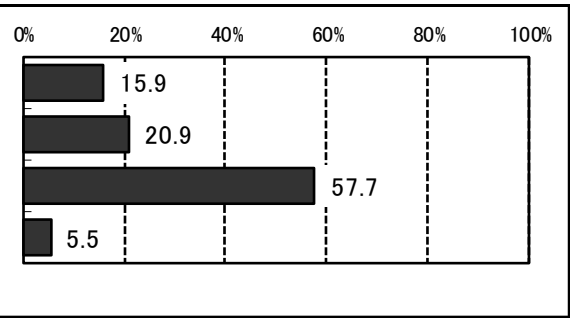
区分		
コミュニケーションツール（翻訳アプリ等）を導入している（していた）	(n=2)	11.1
外国人雇用者向けの相談員、指導員等を配置している（していた）	(n=6)	33.3
外国人雇用者の言語で作成したケアマニュアルなどを準備している（していた）	(n=3)	16.7
外国人への日常生活等の相談窓口（ひょうご外国人介護実習センター等）を案内している（していた）	(n=0)	0.0
住居（寮など）を提供している（していた）	(n=5)	27.8
仕事以外の地域・生活面への支援を行っている（いた）	(n=6)	33.3
日本人職員に対し、外国人雇用者の国の文化や生活習慣等について研修している（していた）	(n=3)	16.7
その他	(n=1)	5.6
特にない	(n=6)	33.3
不明・無回答	(n=0)	0.0
全体	(n=18)	



「外国人雇用者向けの相談員、指導員等を配置している（していた）」と「仕事以外の地域・生活面への支援を行っている（いた）」と「特にない」が、ともに 33.3％で最も多く、次いで「住居（寮など）を提供している（していた）」が 27.8％、「外国人雇用者の言語で作成したケアマニュアルなどを準備している（していた）」と「日本人職員に対し、外国人雇用者の国の文化や生活習慣等について研修している（していた）」が、ともに 16.7％で続いています。

問 14　今後（または引き続き）、外国人労働者を受け入れる予定はありますか。（１つに○）

区分	
受け入れたい	(n=29)
受け入れたくない	(n=38)
わからない	(n=105)
不明・無回答	(n=10)
全体	(n=182)



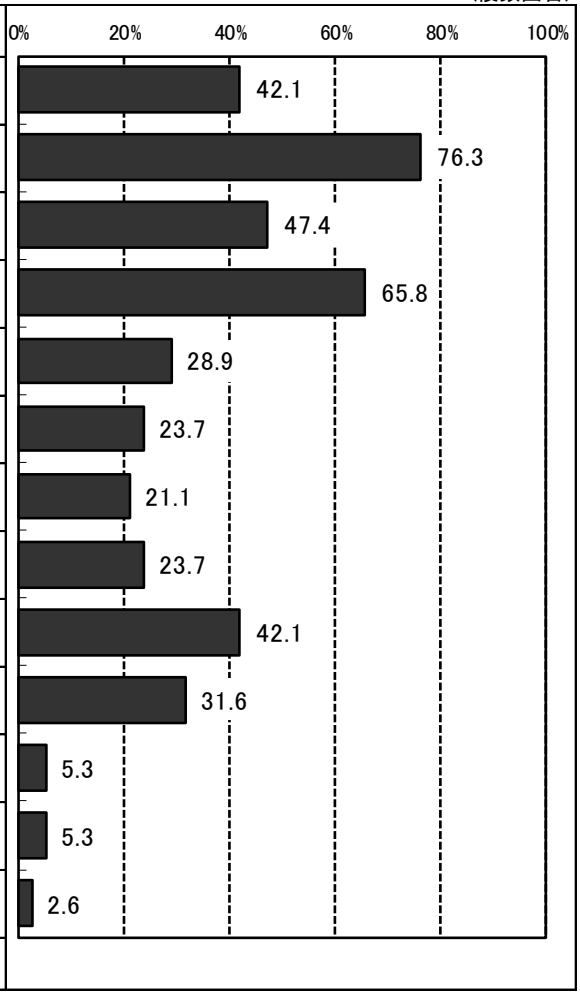
「わからない」が 57.7％で最も多く、次いで「受け入れたくない」が 20.9％、「受け入れたい」が 15.9％で続いています。

問 14 で「2. 受け入れたくない」と答えた方

問 15　理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

区分	
日本人職員との意思疎通に支障があると思うから	(n=16)
利用者等との意思疎通に支障があると思うから	(n=29)
日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障があると思うから	(n=18)
生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから	(n=25)
業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから	(n=11)
受け入れ外国人の住居の確保が難しいと思うから	(n=9)
人件費以外に様々なコストがかかると思うから	(n=8)
ビザの手続きや在留資格の確認などの手続き方法がわからない・複雑そうに感じる	(n=9)
外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから	(n=16)
いずれ帰国してしまうなど、人材の定着にはつながらないと思うから	(n=12)
その他	(n=2)
特にない	(n=2)
不明・無回答	(n=1)
全体	(n=38)



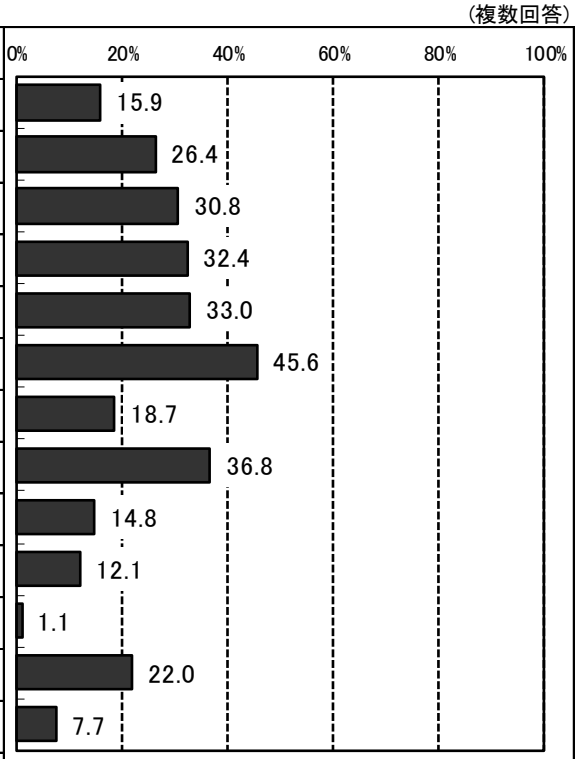
「利用者等との意思疎通に支障があると思うから」が 76.3％で最も多く、次いで「生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから」が 65.8％、「日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障があると思うから」が 47.4％で続いています。

４．事業運営等について

問 16　以下の介護保険外サービス（総合事業によるサービスを含む）で、実施することに興味・関心はありますか。（実施しているサービスも含む）（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

区分		
配食	(n=29)	15.9
調理	(n=48)	26.4
掃除・洗濯	(n=56)	30.8
買い物（宅配は含まない）	(n=59)	32.4
ゴミ出し	(n=60)	33.0
外出同行（通院、買い物など）	(n=83)	45.6
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	(n=34)	18.7
見守り、声かけ	(n=67)	36.8
サロンなどの定期的な通いの場	(n=27)	14.8
認知症カフェ	(n=22)	12.1
その他	(n=2)	1.1
特にない	(n=40)	22.0
不明・無回答	(n=14)	7.7
全体	(n=182)	

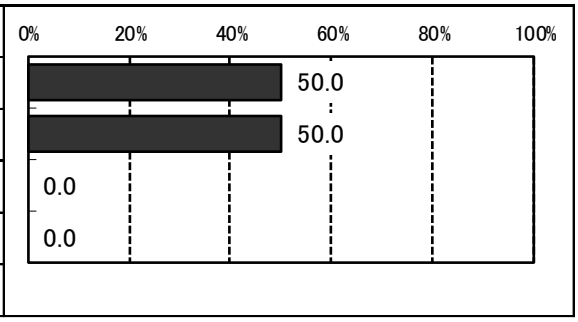


「外出同行（通院、買い物など）」が 45.6％で最も多く、次いで「見守り、声かけ」が 36.8％、「ゴミ出し」が 33.0％で続いています。

問 17～問 20 は「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」の事業所様のみお答えください。それ以外の事業所様は問 21 へお進みください。

問 17　地域貢献の一環として、高齢者のボランティアの受け入れ（利用者の話し相手、花壇等の手入れ、配膳補助等）についてどのようにお考えですか。（１つに○）

区分		
受け入れている	(n=2)	50.0
受け入れたいが現在は受け入れていない	(n=2)	50.0
受け入れる予定はない	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=0)	0.0
全体	(n=4)	



「受け入れている」と「受け入れたいが現在は受け入れていない」が、ともに 50.0％で最も多くなっています。

問 17 で「1. 受け入れている」と答えた方

問 18　高齢者のボランティアの内容について教えてください。

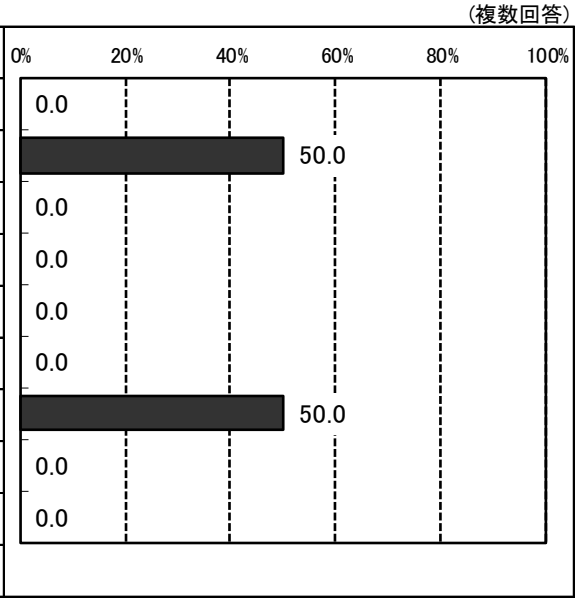
ボランティアの内容	有償・無償の状況	有償時の料金	交通費等の提供金額
ご利用者様への“紙芝居”ボランティア。	無償	－	－
食器洗浄、配膳。	有償	1,000	－
事業所土地内の花壇の手入れ	無償	－	－
読み聞かせ、手話。	無償	－	－
大正琴	無償	－	－

問 17 で「2. 受け入れたいが現在は受け入れていない」「3. 受け入れる予定はない」と答えた方

問 19　理由や課題について教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

（複数回答）

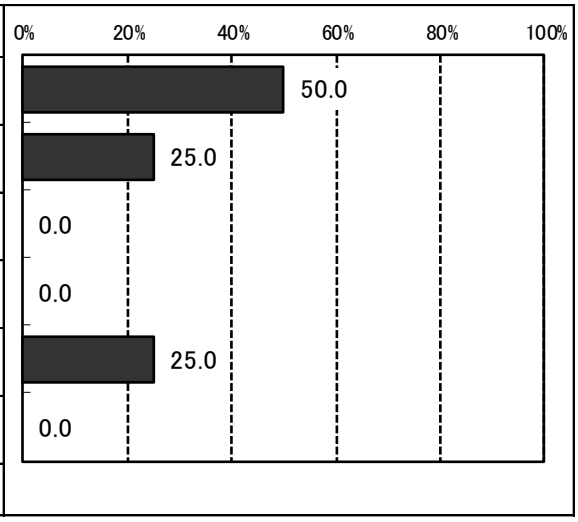
区分		
ボランティアを募集したが応募がなかった	(n=0)	0.0
ボランティアと時間調整等の連絡を行う人的余力がない	(n=1)	50.0
ボランティアを集める方法（手段）がわからない	(n=0)	0.0
ボランティアに関する相談窓口が見つからない（わからない）	(n=0)	0.0
ボランティアの転倒等による怪我のリスクが心配	(n=0)	0.0
利用者に抵抗感があると思われる	(n=0)	0.0
その他	(n=1)	50.0
特にない	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=0)	0.0
全体	(n=2)	



「ボランティアと時間調整等の連絡を行う人的余力がない」と「その他」が、ともに 50.0%で最も多くなっています。

問 20　貴事業所での地域へのスペース提供（体操やサロン等の実施場所等）について、どのようにお考えですか。（１つに○）

区分		
可能（現在も提供している場合も含む。）	(n=2)	50.0
施設管理等に係るスタッフの配置が必要なため現状は困難であるが、スタッフ人件費相当の補助等があれば可能	(n=1)	25.0
施設管理等に係るスタッフを配置できる人的余裕がないため困難	(n=0)	0.0
スペースに余分がないため困難	(n=0)	0.0
その他の理由で困難	(n=1)	25.0
不明・無回答	(n=0)	0.0
全体	(n=4)	

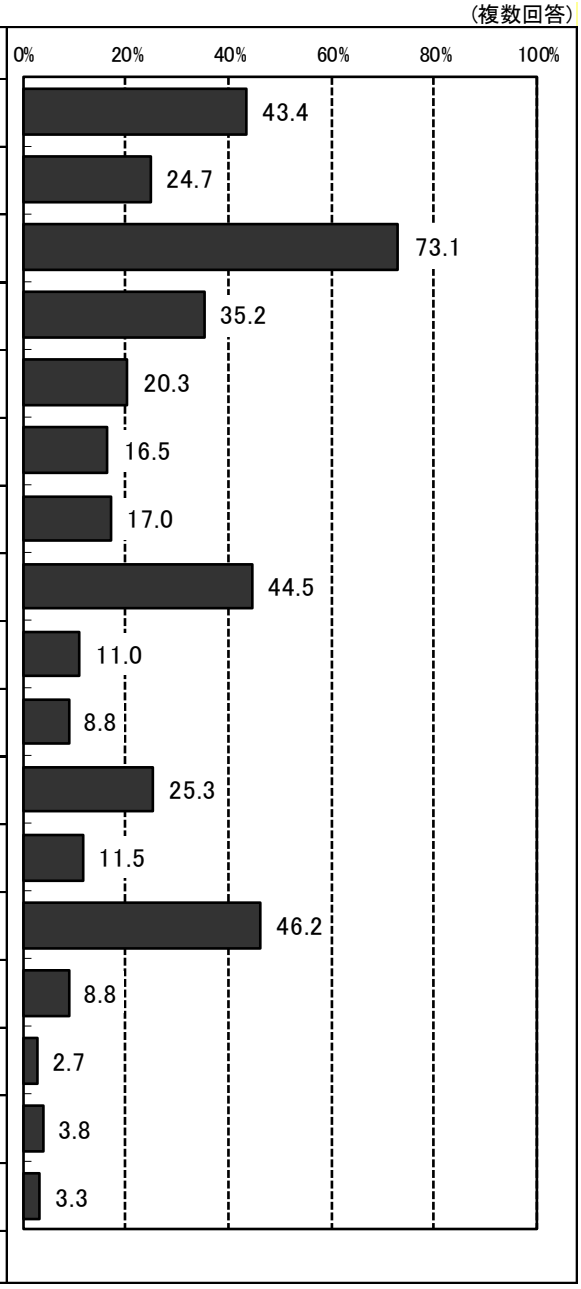


「可能（現在も提供している場合も含む。）」が 50.0％で最も多く、次いで「施設管理等に係るスタッフの配置が必要なため現状は困難であるが、スタッフ人件費相当の補助等があれば可能」と「その他の理由で困難」が、ともに 25.0％で続いています。

ここからはすべての方がお答えください。

問 21　事業を運営する上で問題等はありますか。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）



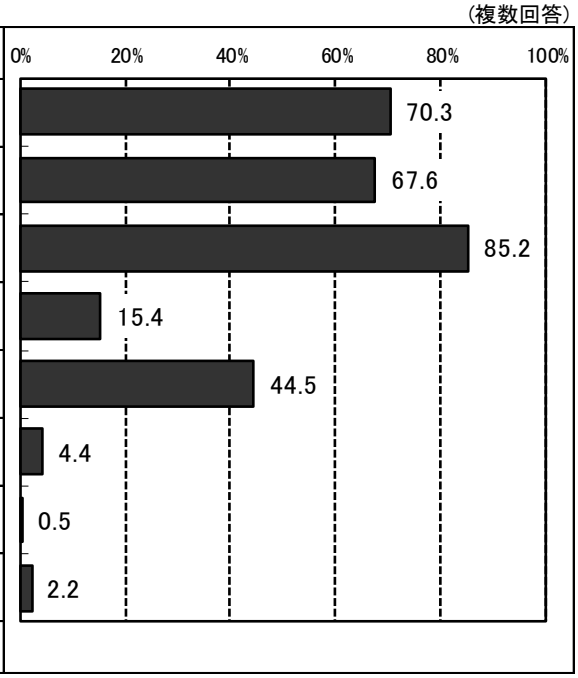
区分	
今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない	(n=79)
経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境の改善をしたくてもできない	(n=45)
良質な人材の確保が難しい	(n=133)
新規利用者の確保が難しい	(n=64)
介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	(n=37)
介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	(n=30)
管理者の指導・管理能力が不足している	(n=31)
教育・研修の時間が十分に取れない	(n=81)
介護従事者間のコミュニケーションが不足している	(n=20)
経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	(n=16)
利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	(n=46)
介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	(n=21)
指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	(n=84)
雇用管理等についての情報や指導が不足している	(n=16)
その他	(n=5)
特に問題はない	(n=7)
不明・無回答	(n=6)
全体	(n=182)

「良質な人材の確保が難しい」が 73.1％で最も多く、次いで「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている」が 46.2％、「教育・研修の時間が十分に取れない」が 44.5％で続いています。

問 22　感染症対策について、事業所の対応として新型コロナウイルスの流行によって変更等したものはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

（複数回答）

区分		
感染症対策の指針やマニュアルの見直し等を行った（行う予定である）	(n=128)	70.3
職員に対し感染症対策の研修会を行った（行う予定である）	(n=123)	67.6
備蓄品の見直し等を行った（行う予定である）	(n=155)	85.2
WEB面会（タブレット等を介した面会）の環境を整備した（整備予定である）	(n=28)	15.4
感染症が発生した場合の対応方針等について、利用者や家族と共有した（共有予定である）	(n=81)	44.5
その他	(n=8)	4.4
特にない、対応ができてない	(n=1)	0.5
不明・無回答	(n=4)	2.2
全体	(n=182)	



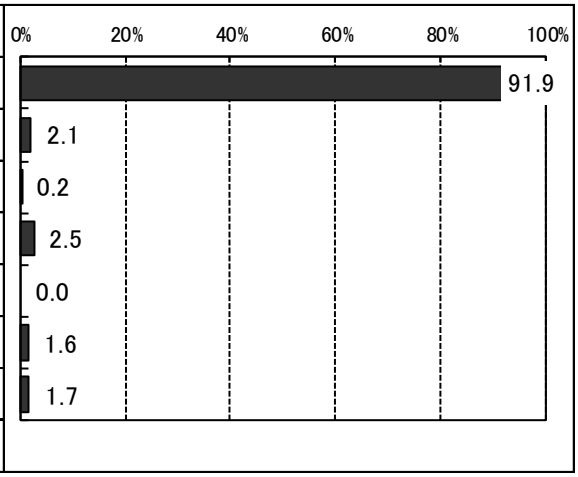
「備蓄品の見直し等を行った（行う予定である）」が 85.2％で最も多く、次いで「感染症対策の指針やマニュアルの見直し等を行った（行う予定である）」が 70.3％、「職員に対し感染症対策の研修会を行った（行う予定である）」が 67.6％で続いています。

第５章　訪問系職員調査結果

１．サービス提供について

問１　あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（１つに○）

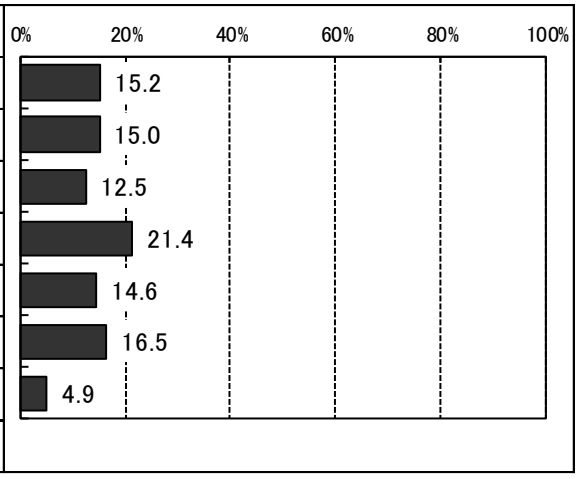
区分	
訪問介護（総合事業含む）	(n=581)
訪問入浴	(n=13)
夜間対応型訪問介護	(n=1)
小規模多機能型居宅介護	(n=16)
看護小規模多機能型居宅介護	(n=0)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(n=10)
不明・無回答	(n=11)
全体	(n=632)



「訪問介護（総合事業含む）」が 91.9％で最も多く、次いで「小規模多機能型居宅介護」が 2.5％、「訪問入浴」が 2.1％で続いています。

問２　貴事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください。（１つに○）

区分	
中央	(n=96)
小田	(n=95)
大庄	(n=79)
立花	(n=135)
武庫	(n=92)
園田	(n=104)
不明・無回答	(n=31)
全体	(n=632)

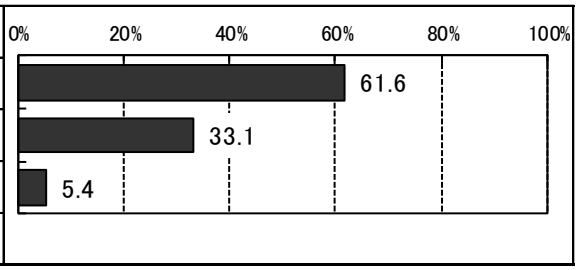


「立花」が 21.4％で最も多く、次いで「園田」が 16.5％、「中央」が 15.2％で続いています。

問３　あなたの雇用形態、性別、年齢、過去１週間の勤務時間等について、ご回答ください。

１）雇用形態（１つに○）

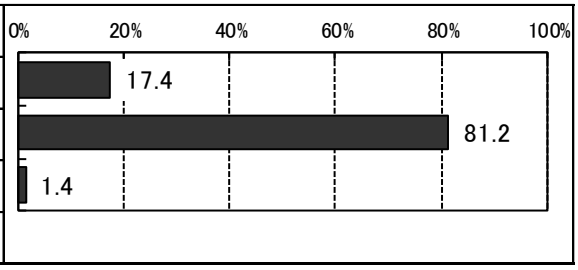
区分	
正規職員	(n=389)
非正規職員	(n=209)
不明・無回答	(n=34)
全体	(n=632)



「正規職員」が 61.6%、「非正規職員」が 33.1%となっています。

２）性別（１つに○）

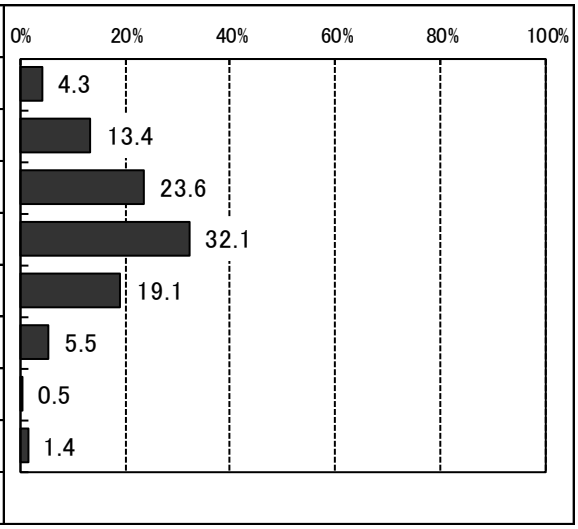
区分	
男性	(n=110)
女性	(n=513)
不明・無回答	(n=9)
全体	(n=632)



「女性」が 81.2%、「男性」が 17.4%となっています。

３）年齢（数値を記入）

区分	
20歳代	(n=27)
30歳代	(n=85)
40歳代	(n=149)
50歳代	(n=203)
60歳代	(n=121)
70歳代	(n=35)
80歳代	(n=3)
不明・無回答	(n=9)
全体	(n=632)



「50 歳代」が 32.1%で最も多く、次いで「40 歳代」が 23.6%、「60 歳代」が 19.1%で続いています。平均は 51.2 歳となっています。

４） １日あたりの勤務時間（数値を記入）

区分		
1時間未満	(n=4)	0.6
1時間以上2時間未満	(n=24)	3.8
2時間以上3時間未満	(n=27)	4.3
3時間以上4時間未満	(n=37)	5.9
4時間以上5時間未満	(n=27)	4.3
5時間以上6時間未満	(n=33)	5.2
6時間以上7時間未満	(n=29)	4.6
7時間以上8時間未満	(n=74)	11.7
8時間以上9時間未満	(n=286)	45.3
9時間以上10時間未満	(n=35)	5.5
10時間以上	(n=17)	2.7
不明・無回答	(n=39)	6.2
全体	(n=632)	

「8 時間以上 9 時間未満」が 45.3%で最も多く、次いで「7 時間以上 8 時間未満」が 11.7%、「3 時間以上 4 時間未満」が 5.9%で続いています。平均は 404.1 分となっています。

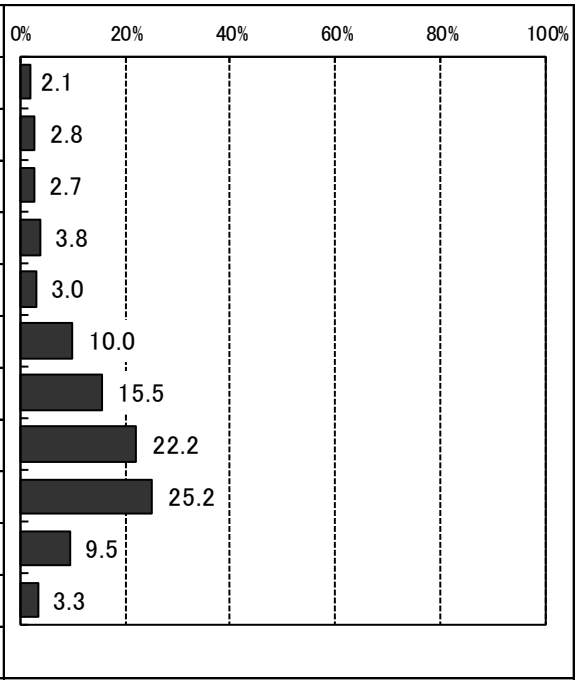
５）週あたりの勤務日数（数値を記入）

区分		
1日	(n=8)	1.3
2日	(n=15)	2.4
3日	(n=40)	6.3
4日	(n=67)	10.6
5日	(n=406)	64.2
6日	(n=65)	10.3
7日	(n=11)	1.7
不明・無回答	(n=20)	3.2
全体	(n=632)	

「5 日」が 64.2%で最も多く、次いで「4 日」が 10.6%、「6 日」が 10.3%で続いています。平均は 4.8 日となっています。

６）介護・福祉の仕事の経験年数（数値を記入）

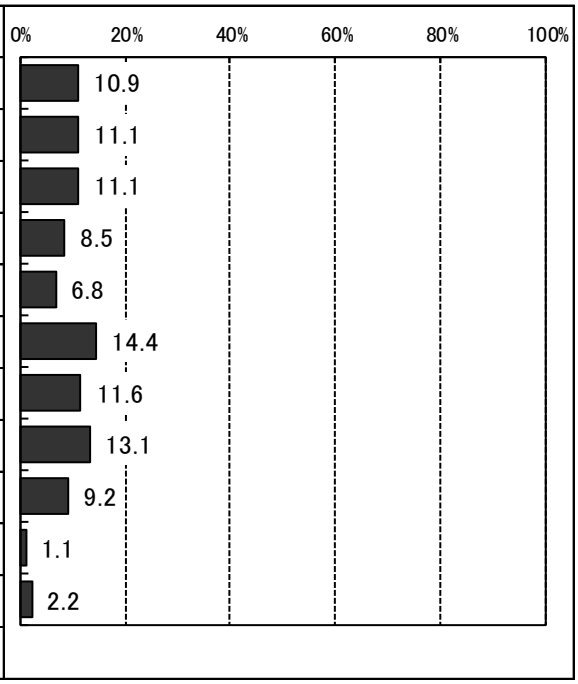
区分		
1年未満	(n=13)	2.1
1年以上2年未満	(n=18)	2.8
2年以上3年未満	(n=17)	2.7
3年以上4年未満	(n=24)	3.8
4年以上5年未満	(n=19)	3.0
5年以上7年未満	(n=63)	10.0
7年以上10年未満	(n=98)	15.5
10年以上15年未満	(n=140)	22.2
15年以上20年未満	(n=159)	25.2
20年以上	(n=60)	9.5
不明・無回答	(n=21)	3.3
全体	(n=632)	



「15 年以上 20 年未満」が 25.2％で最も多く、次いで「10 年以上 15 年未満」が 22.2％、「7 年以上 10 年未満」が 15.5％で続いています。平均は 11 年６か月となっています。

７）現在の事業所での勤務年数（数値を記入）

区分		
1年未満	(n=69)	10.9
1年以上2年未満	(n=70)	11.1
2年以上3年未満	(n=70)	11.1
3年以上4年未満	(n=54)	8.5
4年以上5年未満	(n=43)	6.8
5年以上7年未満	(n=91)	14.4
7年以上10年未満	(n=73)	11.6
10年以上15年未満	(n=83)	13.1
15年以上20年未満	(n=58)	9.2
20年以上	(n=7)	1.1
不明・無回答	(n=14)	2.2
全体	(n=632)	

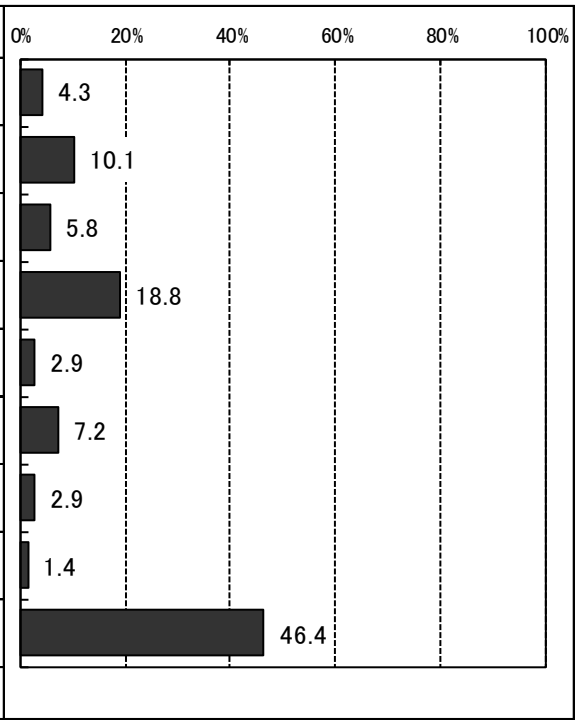


「5 年以上 7 年未満」が 14.4％で最も多く、次いで「10 年以上 15 年未満」が 13.1％、「7 年以上 10 年未満」が 11.6％で続いています。平均は６年２か月となっています。

問3の7)、現在の事業所での勤務年数で「1年未満」の方

問４　現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。（１つに○）

区分		
現在の職場が初めての勤務先	(n=3)	4.3
介護以外の職場	(n=7)	10.1
特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	(n=4)	5.8
訪問介護・入浴、夜間対応型	(n=13)	18.8
小多機、看多機、定期巡回サービス	(n=2)	2.9
通所介護、通所リハ、認知症デイ	(n=5)	7.2
住宅型有料、サ高住（特定施設以外）	(n=2)	2.9
その他の介護サービス	(n=1)	1.4
不明・無回答	(n=32)	46.4
全体	(n=69)	



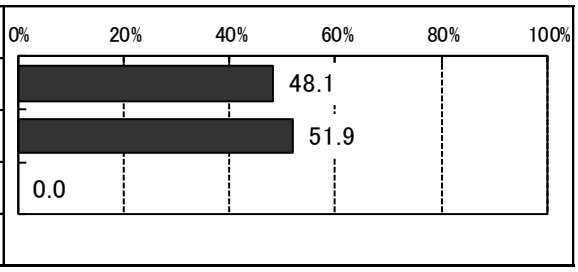
「訪問介護・入浴、夜間対応型」が 18.8%で最も多く、次いで「介護以外の職場」が 10.1%、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が 7.2%で続いています。

問4で「3.」～「8.」と回答された方

問５　ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。（１つに○）

１）場所（１つに○）

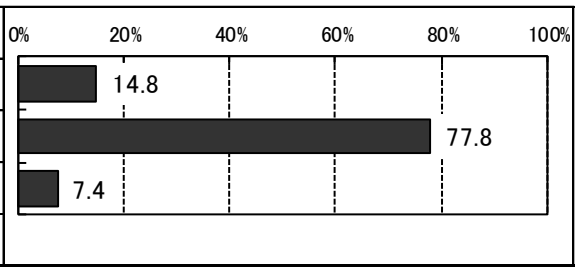
区分		
尼崎市内	(n=13)	48.1
尼崎市外	(n=14)	51.9
不明・無回答	(n=0)	0.0
全体	(n=27)	



「尼崎市外」が 51.9%、「尼崎市内」が 48.1%となっています。

２）法人（１つに○）

区分		
現在の事業所と、同一の法人・グループ	(n=4)	14.8
現在の事業所と、別の法人・グループ	(n=21)	77.8
不明・無回答	(n=2)	7.4
全体	(n=27)	

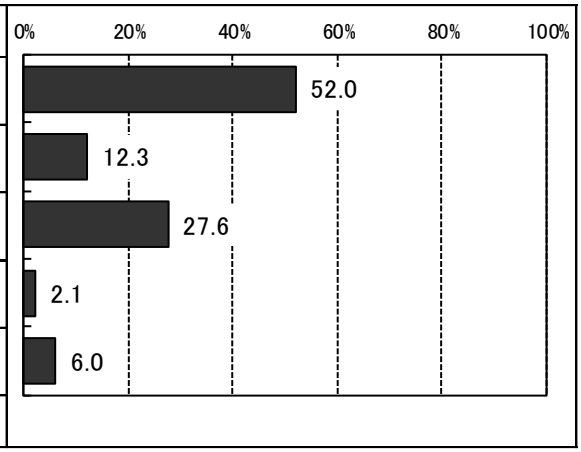


「現在の事業所と、別の法人・グループ」が 77.8%、「現在の事業所と、同一の法人・グループ」が 14.8%となっています。

問6～問7は「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護員」以外の方は問8へ。

問６　あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（１つに○）

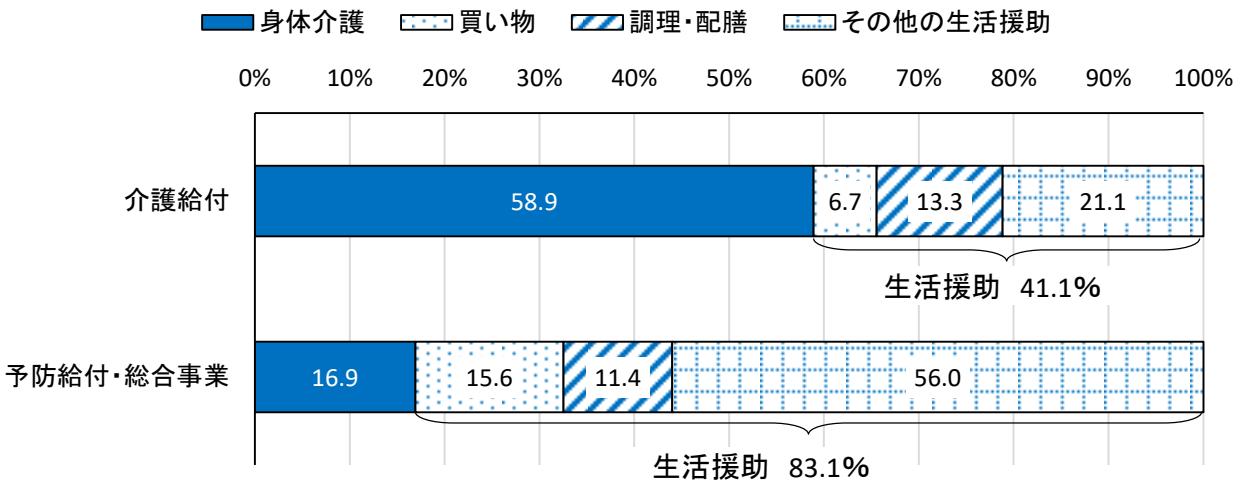
区分	
介護福祉士（認定介護福祉士含む）	(n=322)
介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級	(n=76)
介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級	(n=171)
上記のいずれにも該当しない	(n=13)
不明・無回答	(n=37)
全体	(n=619)



「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が 52.0％で最も多く、次いで「介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2 級」が 27.6％、「介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー１級」が 12.3％で続いています。

問７　「訪問介護（総合事業含む）」「訪問入浴」「夜間対応型訪問介護」「小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」に従事されている方にお聞きします。
直近の１週間（７日間）について、提供した時間（分）を記入してください。

サービス提供時間（分）の構成比（週の合計）



サービス提供時間（分）の構成比（週の合計）は、介護給付では「身体介護」が 58.9％、「生活援助」で 41.1％に対し、予防給付・総合事業では「身体介護」が 16.9％、「生活援助」で 83.1％となっています。

「生活援助」の内訳をみると、介護給付、予防給付・総合事業ともに「その他の生活援助」が最も多く、介護給付で 21.1％、予防給付・総合事業で 56.0％となっています。

■サービス提供時間合計と平均サービス提供時間

平均サービス提供時間をみると、週の合計で介護給付の「身体介護」は 503 分、「生活援助」で 166 分と身体介護のほうが 337 分長いのに対し、予防給付は「身体介護」で 93 分、「生活援助」で 94 分と身体介護と生活援助がほぼ同じ提供時間となっています。

介護給付のサービス提供時間合計と平均サービス提供時間

	サービス提供時間の合計（分）						平均サービス提供時間（分）				
	身体介護	生活援助			生活援助	合計	身体介護	生活援助			生活援助
		買い物	調理・配膳	その他の生活援助				買い物	調理・配膳	その他の生活援助	
月曜日	44,026	6,360	10,747	15,835	32,942	76,968	113	36	50	56	49
火曜日	41,108	4,625	9,176	15,453	29,254	70,362	115	28	46	60	47
水曜日	40,507	5,385	9,235	15,415	30,035	70,542	112	33	45	57	47
木曜日	40,345	4,180	9,088	14,950	28,218	68,563	113	29	48	57	47
金曜日	43,145	4,765	10,205	16,531	31,501	74,646	111	30	48	60	48
土曜日	30,725	3,200	6,715	10,422	20,337	51,062	114	26	44	51	42
日曜日	23,957	1,290	4,362	6,091	11,743	35,700	119	15	36	43	34
週の合計	263,814	29,805	59,528	94,697	184,030	447,844	503	91	172	217	166

予防給付のサービス提供時間合計と平均サービス提供時間

	サービス提供時間の合計（分）						平均サービス提供時間（分）				
	身体介護	生活援助			生活援助	合計	身体介護	生活援助			生活援助
		買い物	調理・配膳	その他の生活援助				買い物	調理・配膳	その他の生活援助	
月曜日	1,735	1,520	1,250	6,389	9,159	10,894	31	23	24	52	38
火曜日	1,460	1,805	885	5,320	8,010	9,470	28	29	21	47	36
水曜日	1,545	1,390	1,185	4,555	7,130	8,675	31	24	23	46	34
木曜日	1,380	1,525	1,020	6,440	8,985	10,365	31	28	24	58	43
金曜日	2,055	1,695	1,200	5,280	8,175	10,230	35	25	27	46	36
土曜日	780	670	520	2,155	3,345	4,125	19	17	15	33	24
日曜日	390	30	255	800	1,085	1,475	11	1	9	25	12
週の合計	9,345	8,635	6,315	30,939	45,889	55,234	93	56	63	132	94

■（参考）曜日ごとのサービス提供時間と１週間のサービス提供時間

介護給付の曜日ごとのサービス提供時間と１週間のサービス提供時間

曜日	曜日ごとのサービス提供時間の構成比（横集計）					１週間のサービス提供時間構成比（縦集計）				
	身体介護	生活援助			生活援助	身体介護	生活援助			生活援助
		買い物	調理・配膳	その他の生活援助			買い物	調理・配膳	その他の生活援助	
月曜日	57.2%	8.3%	14.0%	20.6%	42.8%	16.7%	21.3%	18.1%	16.7%	17.9%
火曜日	58.4%	6.6%	13.0%	22.0%	41.6%	15.6%	15.5%	15.4%	16.3%	15.9%
水曜日	57.4%	7.6%	13.1%	21.9%	42.6%	15.4%	18.1%	15.5%	16.3%	16.3%
木曜日	58.8%	6.1%	13.3%	21.8%	41.2%	15.3%	14.0%	15.3%	15.8%	15.3%
金曜日	57.8%	6.4%	13.7%	22.1%	42.2%	16.4%	16.0%	17.1%	17.5%	17.1%
土曜日	60.2%	6.3%	13.2%	20.4%	39.8%	11.6%	10.7%	11.3%	11.0%	11.1%
日曜日	67.1%	3.6%	12.2%	17.1%	32.9%	9.1%	4.3%	7.3%	6.4%	6.4%
週の合計	58.9%	6.7%	13.3%	21.1%	41.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

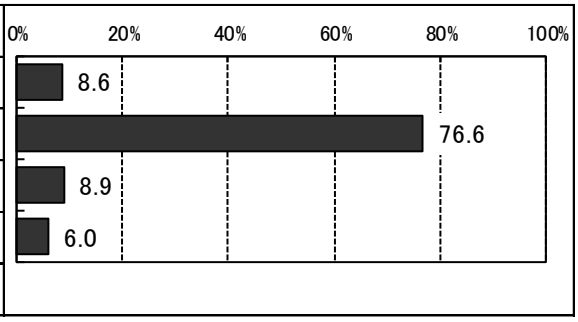
予防給付・総合事業の曜日ごとのサービス提供時間と１週間のサービス提供時間

曜日	曜日ごとのサービス提供時間の構成比（横集計）					１週間のサービス提供時間構成比（縦集計）				
	身体介護	生活援助			生活援助	身体介護	生活援助			生活援助
		買い物	調理・配膳	その他の生活援助			買い物	調理・配膳	その他の生活援助	
月曜日	15.9%	14.0%	11.5%	58.6%	84.1%	18.6%	17.6%	19.8%	20.7%	20.0%
火曜日	15.4%	19.1%	9.3%	56.2%	84.6%	15.6%	20.9%	14.0%	17.2%	17.5%
水曜日	17.8%	16.0%	13.7%	52.5%	82.2%	16.5%	16.1%	18.8%	14.7%	15.5%
木曜日	13.3%	14.7%	9.8%	62.1%	86.7%	14.8%	17.7%	16.2%	20.8%	19.6%
金曜日	20.1%	16.6%	11.7%	51.6%	79.9%	22.0%	19.6%	19.0%	17.1%	17.8%
土曜日	18.9%	16.2%	12.6%	52.2%	81.1%	8.3%	7.8%	8.2%	7.0%	7.3%
日曜日	26.4%	2.0%	17.3%	54.2%	73.6%	4.2%	0.3%	4.0%	2.6%	2.4%
週の合計	16.9%	15.6%	11.4%	56.0%	83.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問８　問７でお答えいただいた訪問状況について、新型コロナウイルスの流行以前に比べて訪問回数や１回あたりの時間に減少や増加はありますか。

①訪問回数（１つに〇）

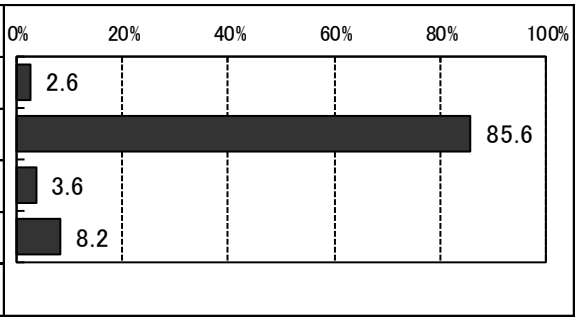
区分	
減少した	(n=53)
変わらない	(n=474)
増加した	(n=55)
不明・無回答	(n=37)
全体	(n=619)



「変わらない」が 76.6%で最も多く、次いで「増加した」が 8.9%、「減少した」が 8.6%で続いています。

②１回あたりの時間（１つに〇）

区分	
短くなった	(n=16)
変わらない	(n=530)
長くなった	(n=22)
不明・無回答	(n=51)
全体	(n=619)



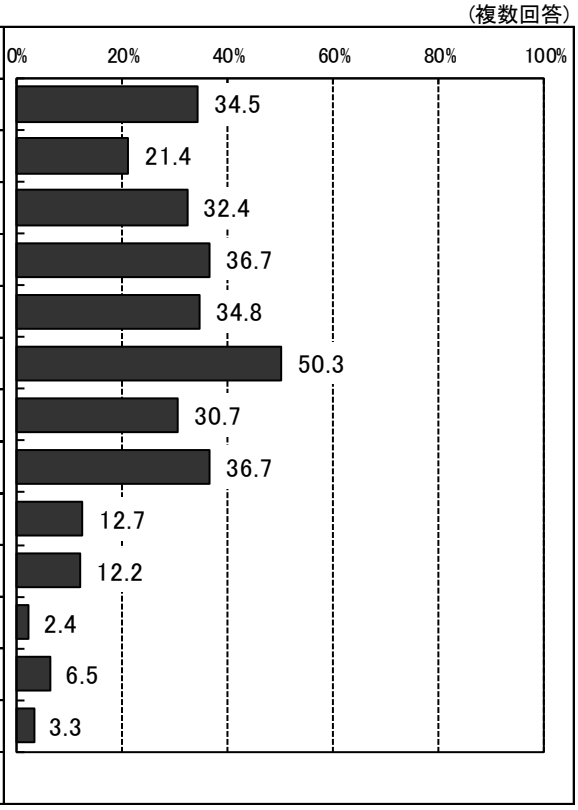
「変わらない」が 85.6%で最も多く、次いで「長くなった」が 3.6%、「短くなった」が 2.6%で続いています。

ここからはすべての方がお答えください。

問９　あなたから見て、以下の介護保険外サービスで、今後需要が高まると思うサービスはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

（複数回答）

区分		
配食	(n=218)	34.5
調理	(n=135)	21.4
掃除・洗濯	(n=205)	32.4
買い物（宅配は含まない）	(n=232)	36.7
ゴミ出し	(n=220)	34.8
外出同行（通院、買い物など）	(n=318)	50.3
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	(n=194)	30.7
見守り、声かけ	(n=232)	36.7
サロンなどの定期的な通いの場	(n=80)	12.7
認知症カフェ	(n=77)	12.2
その他	(n=15)	2.4
特にない	(n=41)	6.5
不明・無回答	(n=21)	3.3
全体	(n=632)	

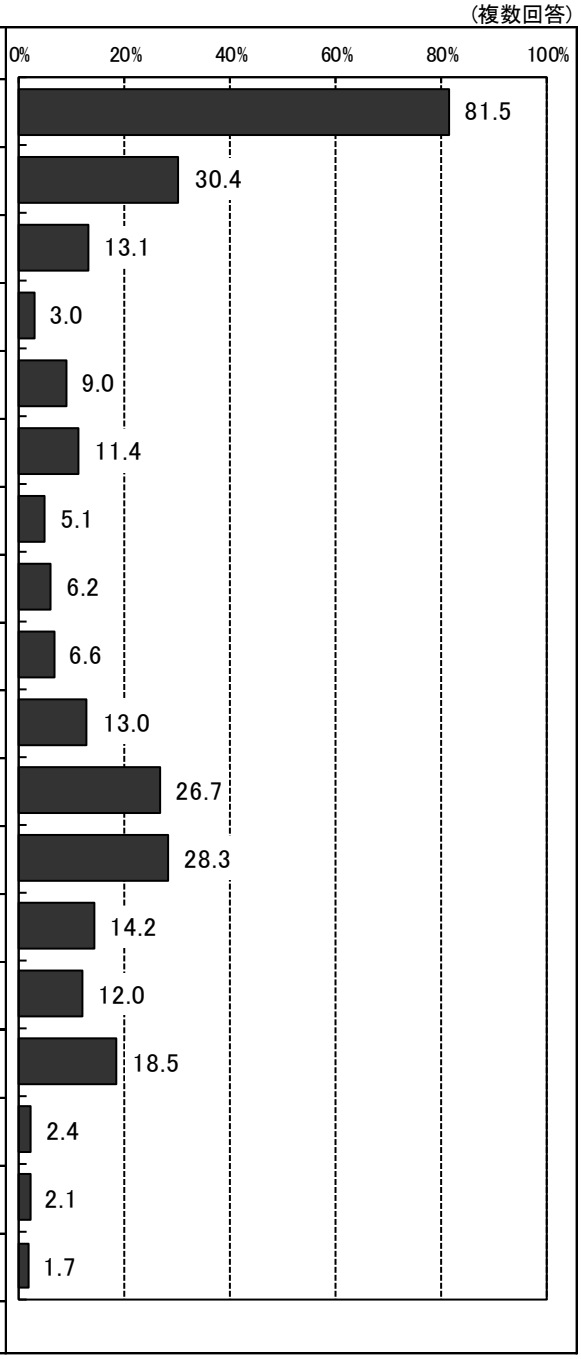


「外出同行（通院、買い物など）」が 50.3％で最も多く、次いで「買い物（宅配は含まない）」と「見守り、声かけ」が、ともに 36.7％、「ゴミ出し」が 34.8％で続いています。

問 10　介護人材不足の問題が深刻化していますが、解決に向けて有効と思われる取組は何だと思いますか。（３つまで〇）

（複数回答）

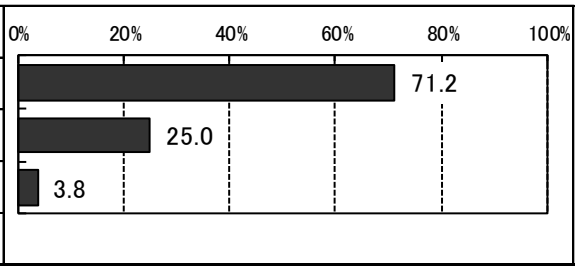
区分		
賃金の大幅アップ（基本給の底上げ）	(n=515)	81.5
介護労働環境の改善、介護業務量の軽減（夜勤の削減、労働時間の短縮など）	(n=192)	30.4
長期継続的な雇用の確保（正規職員への登用制度など）	(n=83)	13.1
介護事業所におけるインターンシップ・職場体験の実施	(n=19)	3.0
高齢者（退職者）の受け入れ、高齢者のマンパワーの活用	(n=57)	9.0
介護未経験者に対する研修	(n=72)	11.4
外国人介護人材の受け入れ、外国人マンパワーの活用（技能実習生制度など）	(n=32)	5.1
ICTやハイテクロボットの活用（介護リフトや離床センサーなど）	(n=39)	6.2
充実した職員教育制度（キャリアアップなど）	(n=42)	6.6
資格取得や能力向上に向けた支援の拡充	(n=82)	13.0
世間的な介護職へのイメージアップ、社会的地位の向上	(n=169)	26.7
休暇のとりやすい職場環境の充実	(n=179)	28.3
福利厚生制度の充実（健康管理の充実、趣味や余暇を楽しめる制度の充実など）	(n=90)	14.2
出産・子育て・家族等を応援する制度の充実（保育所併設による子供の預かりなど）	(n=76)	12.0
介護職本人や家族が介護される側になった時の介護職特別優遇保障制度などの創設	(n=117)	18.5
その他	(n=15)	2.4
特にない、わからない	(n=13)	2.1
不明・無回答	(n=11)	1.7
全体	(n=632)	



「賃金の大幅アップ（基本給の底上げ）」が 81.5％で最も多く、次いで「介護労働環境の改善、介護業務量の軽減（夜勤の削減、労働時間の短縮など）」が 30.4％、「休暇のとりやすい職場環境の充実」が 28.3％で続いています。

問 11　あなたは、この１年間で介護に関わる研修や講習会（事業所内外問わず）に参加したことがありますか。（１つに○）

区分		
ある	(n=450)	71.2
ない	(n=158)	25.0
不明・無回答	(n=24)	3.8
全体	(n=632)	

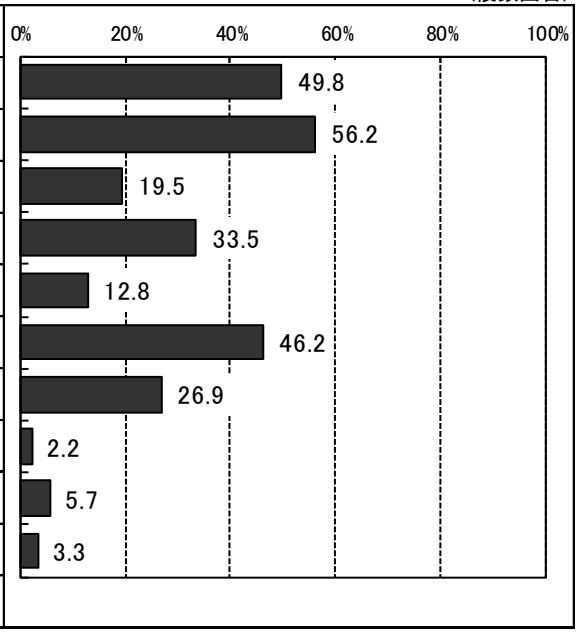


「ある」が 71.2%、「ない」が 25.0%となっています。

問 12　あなたは、以下のような研修や講習会等（事業所内外問わず）があった場合、参加したいものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

区分		
認知症に関する講座	(n=315)	49.8
介護技術の向上に関する講座	(n=355)	56.2
高齢者のリハビリやレクリエーションに関する講座	(n=123)	19.5
食事、口腔ケア、口腔リハビリに関する講座	(n=212)	33.5
音楽療法に関する講座	(n=81)	12.8
終末期を支えるための講座	(n=292)	46.2
多職種間やケアチームの連携に関する講座	(n=170)	26.9
上記以外	(n=14)	2.2
参加したくない	(n=36)	5.7
不明・無回答	(n=21)	3.3
全体	(n=632)	



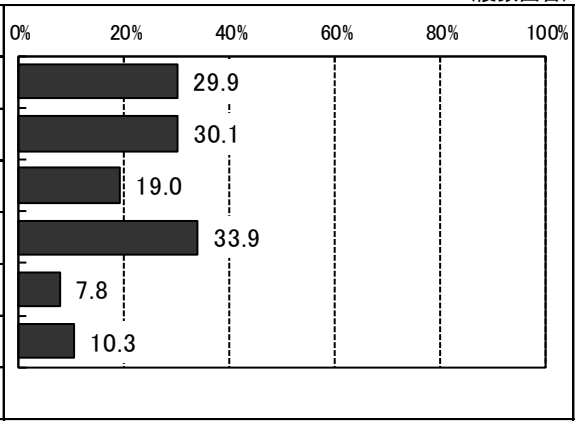
「介護技術の向上に関する講座」が 56.2%で最も多く、次いで「認知症に関する講座」が 49.8%、「終末期を支えるための講座」が 46.2%で続いています。

問 13　介護保険に関する研修や講習会等に参加する場合、あなたが参加しやすい時間帯や曜日等について、お答えください。

①時間帯（可能な時間すべてに○）

（複数回答）

区分		
午前（9:00～12:00）	(n=189)	29.9
午後（12:00～15:00）	(n=190)	30.1
午後（15:00～18:00）	(n=120)	19.0
午後（18:00～21:00）	(n=214)	33.9
午後（21:00～24:00）	(n=49)	7.8
不明・無回答	(n=65)	10.3
全体	(n=632)	

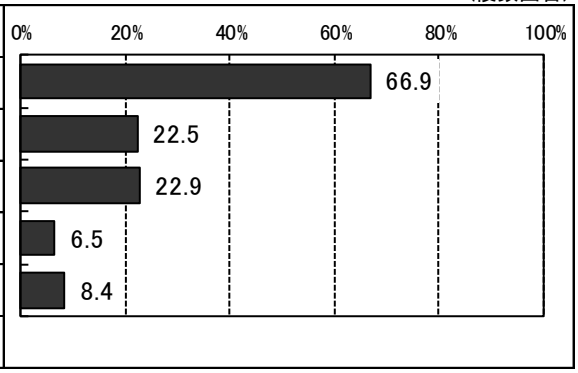


「午後（18：00～21：00)」が 33.9％で最も多く、次いで「午後（12：00～15：00)」が 30.1％、「午前（９：00～12：00)」が 29.9％で続いています。

②曜日（可能な曜日すべてに○）

（複数回答）

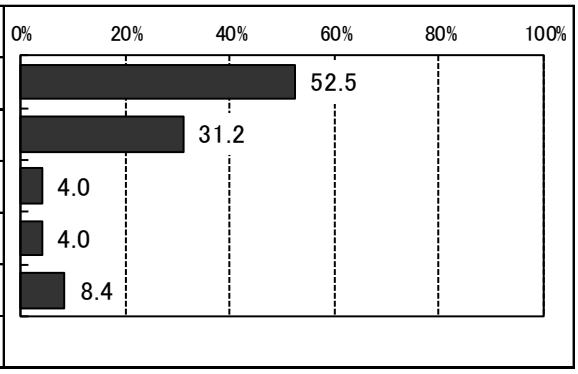
区分		
平日	(n=423)	66.9
土曜日	(n=142)	22.5
日曜日	(n=145)	22.9
祝日	(n=41)	6.5
不明・無回答	(n=53)	8.4
全体	(n=632)	



「平日」が 66.9％で最も多く、次いで「日曜日」が 22.9％、「土曜日」が 22.5％で続いています。

③所要時間（１つに○）

区分		
1時間程度	(n=332)	52.5
2時間程度	(n=197)	31.2
3時間程度	(n=25)	4.0
何時間でも構わない	(n=25)	4.0
不明・無回答	(n=53)	8.4
全体	(n=632)	



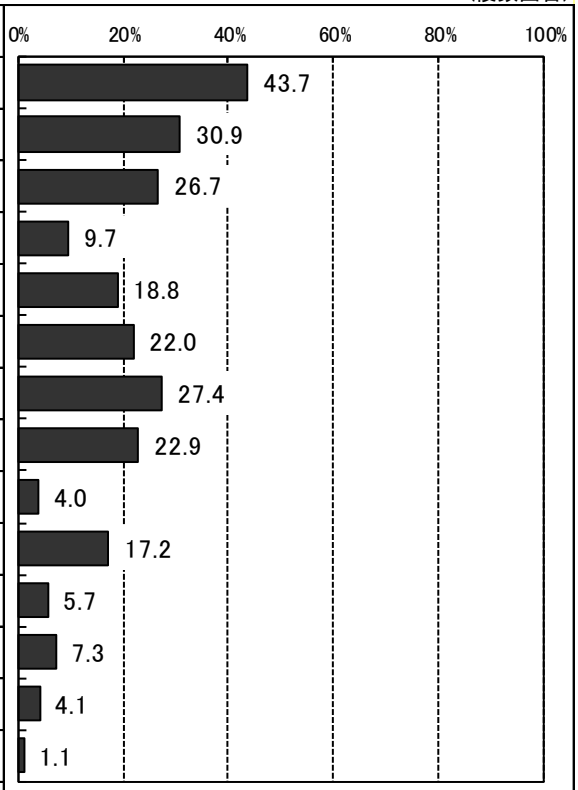
「１時間程度」が 52.5％で最も多く、次いで「２時間程度」が 31.2％、「３時間程度」と「何時間でも構わない」が、ともに 4.0％で続いています。

２．働き方について

問 14　あなたが現在の仕事を選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

区分		
働きがいのある仕事だと思ったから	(n=276)	43.7
今後もニーズが高まる仕事だから	(n=195)	30.9
人や社会の役に立ちたいから	(n=169)	26.7
生きがい・社会参加のため	(n=61)	9.7
お年寄りが好きだから	(n=119)	18.8
身近な人の介護の経験から	(n=139)	22.0
資格・技能が活かせるから	(n=173)	27.4
介護の知識や技能が身につくから	(n=145)	22.9
給与等の収入が多いから	(n=25)	4.0
自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから	(n=109)	17.2
他によい仕事がないため	(n=36)	5.7
その他	(n=46)	7.3
特に理由はない	(n=26)	4.1
不明・無回答	(n=7)	1.1
全体	(n=632)	

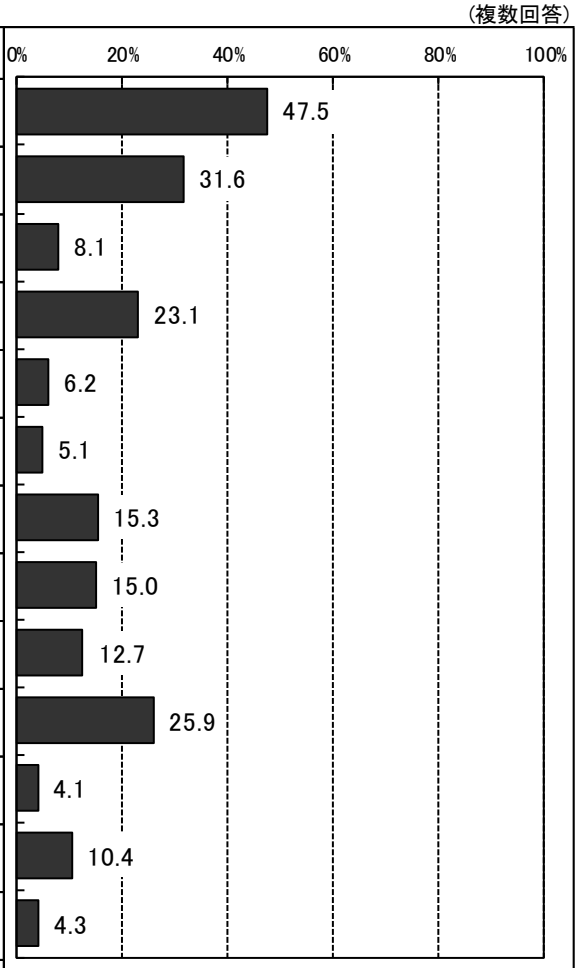


「働きがいのある仕事だと思ったから」が 43.7％で最も多く、次いで「今後もニーズが高まる仕事だから」が 30.9％、「資格・技能が活かせるから」が 27.4％で続いています。

問 15　サービスを提供するにあたっての悩みや不安、不満はありますか。（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

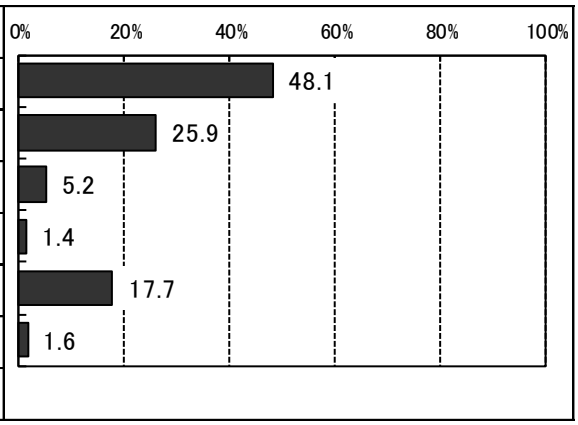
区分		
利用者に適切なケアができているか不安がある	(n=300)	47.5
利用者は何をやってもらっても当然と思っている	(n=200)	31.6
利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	(n=51)	8.1
利用者と家族の希望が一致しない	(n=146)	23.1
利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない	(n=39)	6.2
禁じられている医行為を求められる	(n=32)	5.1
（医行為以外で）定められたサービス以外の仕事を要求される	(n=97)	15.3
利用者の家族が必要なサポート・理解をしてくれない	(n=95)	15.0
良いと思ってやったことが利用者に理解されない	(n=80)	12.7
介護事故(転倒、誤嚥、その他）で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある	(n=164)	25.9
その他	(n=26)	4.1
利用者及びその家族について特に悩み、不安、不満等は感じていない	(n=66)	10.4
不明・無回答	(n=27)	4.3
全体	(n=632)	



「利用者に適切なケアができているか不安がある」が 47.5％で最も多く、次いで「利用者は何をやってもらっても当然と思っている」が 31.6％、「介護事故(転倒、誤嚥、その他）で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある」が 25.9％で続いています。

問 16　あなたは、今後も介護に関わる職場で働いていきたいと思いますか。（１つに○）

区分		
働きたい	(n=304)	48.1
どちらかといえば働きたい	(n=164)	25.9
どちらかといえば働きたくない	(n=33)	5.2
働きたくない	(n=9)	1.4
わからない	(n=112)	17.7
不明・無回答	(n=10)	1.6
全体	(n=632)	



「働きたい」が 48.1％で最も多く、次いで「どちらかといえば働きたい」が 25.9％、「わからない」が 17.7％で続いています。